愛國婦人

創刊明治卅五年三月廿七日●明治卅五年三月廿七日第三種郵便物認可●毎月二回(五日廿日)發行●電話番町千七百四十五番●同五百廿番●遞送無料●振替貯金口座壹壹弐一番

●定價一部三錢五厘●半年分金三十錢●一年分金六十錢●廣告料一行金三十錢●發行所東京麹町區牛ヶ淵公園内愛國婦人會發行所●發行兼印刷人山澤俊夫●編輯人竹内眞三

明治四十三年六月五日發行

June. 5th. 1910.

●婦人と愛國

日本女子大學校長 成瀨仁藏

愛國婦人會などに屬して居らるゝ方は特に愛國といふことに就いて、思想を明かにして置く必要があると思ふのであります。愛國といつてもたゞ抽象的ではいけない、矢張り世界の大勢、國家の急務といふやうな事を知つて、實際に貢獻する處がなくてはなるまいと思ふ。かの奥村女史は戰爭の當時親しく戰地に渡つて支那の風土とか日本の軍隊の有樣を觀察して起たれたのであるから、内にある婦人と雖たゞ安眠をして居つてはいけない出來る丈けの働きをして出征の男子を助け慰めなければならぬ。戰死者の遺族は勞はつてやらなければならぬといふやうな事を切りに唱へられたのであるが、これは實に婦人が愛國のために致すべき大切の務であるに相違ないしかしながら戰爭の過ぎた今日となつては問題は遙かに大きくなつて居ると思ふ。即ち支那或は露國に對する日本ではなくして、東洋及び西洋即ち黄色人と白色人との關係といふことになつて居ると思ふ。處で東洋で國家の體面を保ち、其精神を世界に示し、且つ東洋の指導者として立つて居るのは、日本丈けであるから、世界の注目はひとり我が日本の上にかゝつて居る有樣である。然るにもしこゝで日本が世界の仲間から逐ひ出されたならば何うであらうか。これが大問題である、乃ち今後の愛國といふことは實に世界的大問題であるといふことになるのであります。

世界が日本に注目して居る點は二つある。一は日本が餘り進歩發達しては大變であるといふ利害問題からで、一は日本は戰爭好きで世界の文明の妨げをするといふ人道上の問題からである。そこで日本人が武勇に於て最も勝れて居ることはいふまでもないが、智力の點に於ても、さまで劣らない丈けになるべき素質は持つて居る。たゞ足らないのは經濟力であります。日本人は商買が不得手の上に天與の財源といふものが少く、從つて資本がない。恰も頭があつて胴幹がないやうな感じがするのであるが、これは實に難關である故に經濟力をとゝのへやうとするとは國民目下の急務であるから、婦人も亦大に經濟思想を養ひ、家を治るにも子供を育てるにも此考をもつてすることとは甚だ大切だと思ふ。然しながらこゝに考へなければならない事は武勇智識經濟の三つが增たならば、夫でもう敵はないかといふに、是が揃へば却つて世界の敵視が甚しくなり、日本は利害問題上、世界の舞台から逐ひ出されることになる。是に於て我國には自然に與へられて居る處の使命のあることを忘れてはならぬそれは何かといへば東西の調和といふことである。即ち我國民は世界的宗敎的人道的の同盟をして、世界の國民と共に人類一般の文化をはかり、世界の平和を保つの地位に進み、大國民たるに恥しからぬ態度を作らなければならないのであります、然るに殘念なるかな、日本人は移民をしても貿易をしても、凡て自己をのみ本位として國家とか人類とかいふ事を念頭に置かないから、次第に世界から嫌はれ、畢竟物質的の敗北を見るに至るのである。もう一つ注目すべき事は今後世界に於ける大切な問題は人道主義といふことで、これが戰爭にも國際にも及ぶやうになる。即ち戰爭とか國際とかいふ事で税金が增し、國民の負擔が重くなる故世界的平和を來さむと望むやうになつて來るのは人類自然の要求である。かくて竟には强國が一致して世界の平和を保つといふことになるだらうと思ふのである處で、この世界の人道的活動や、社會的事業の運動は何處から起つて居るかといふに多くは婦人からである、例へばかのボストンに於けるミセスハウの會長をして居る平和協會の如き、又は米國四十餘州に亘れる婦人の大同盟の如き、皆慈善的に世を濟め高めることに力を盡して居る。それから近世になつて哲學や科學に壓倒せられて停滯を來して居つた宗敎を復活せしめて其眞生命を發揮せしめて來たのも亦婦人である。かのバラバスキー婦人の如きは、露國のプリンセス系に生れた人であるが、印度に入つて佛門の弟子となり九年間研究して眞の佛敎といふものを知つた、此人は後に迫害を受けて死んだけれど、其思想は米國にも英國にも傳はつて人種とか國家とかいふ區別を去た世界的宗敎の實行となつて居る。とにかく今日歐米に於ける人道主義の働きは、皆婦人の參加して居ないものはないのである。然るに悲しいかな、日本の婦人はまだ其仲間入をして居ないのである。日本婦人が世界の婦人と共に興味を同じくし、趣味を解し合ふことが出來ずしては、日本の今後は何うであらうか、少くとも大切な使命を負へる日本國民の妻たり母たることが出來やうか。これは大問題であると思ふ。就いては日本婦人が固有の美德を失つてならぬことはいふ迄もないが、今後の婦人はたゞ消極的の夫ばかりではいかぬ。高等の敎育も受け知識も磨いて世界的の頭腦をつくり、經濟政治すべての方面について相當の考を有て居るやうでなければ眞の愛國といふ事は出來ないだらうと思ふのである

夏の不忍

本號主要目次

▲婦人と愛國……日本女子大學校長 成瀨仁藏
▲和蘭の話……東京外國語學校長 村上直次郎
▲名家の子女……原胤照
▲家庭を圓滿ならしむるには斯の如き注意を要す……鳩山春子
▲子供と和歌……御歌所長 高崎正風
▲史傳瀨川之子……ふく子
▲婦人と碁……喜多文子
▲家庭叢談(四)……三千子
▲紺飛白の洗濯……高山繁
▲學歌評釋(七)……京都大學講師 池邊義象
▲のみの人に及ぼす害毒……醫學博士 宮島幹之助
▲産婦の注意……大學病院産科醫學士 清水由隆
▲海の内外
▲季節料理
▲夏の衣類……三越呉服店
▲講談鎌田新左衛門……大島光利
▲其他和歌日誌等及附錄記事

本號附錄共十六ページ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

論叢

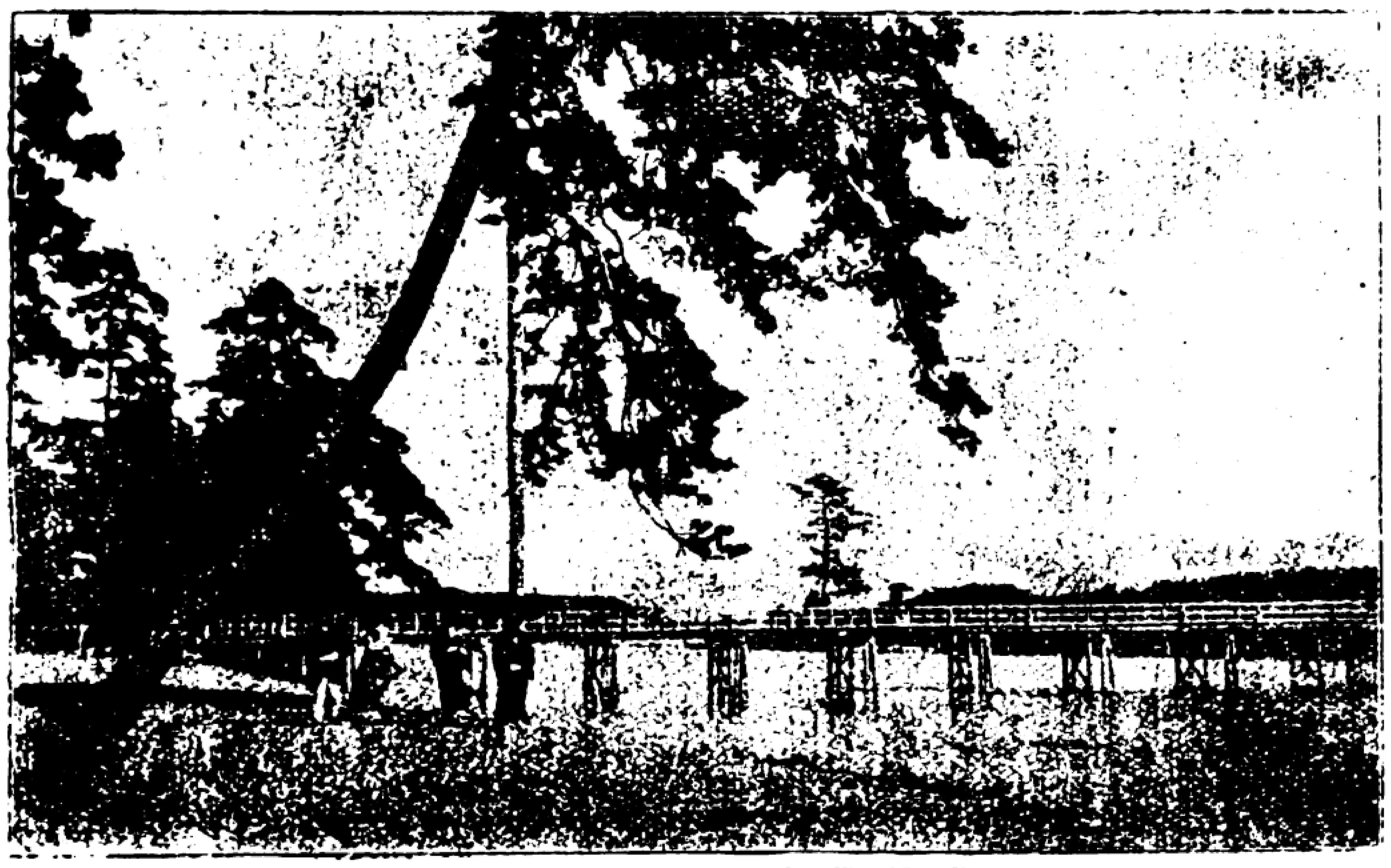
◉惡少年となる名家の兒

原胤照

凡そ何事によらず、善くしやうと思つて却つて反對に惡い結果を得た程、殘念な事はありませんが、ことに私が年來實驗いたしまして氣の毒に思ふのは、預子ことに名家の遺子の末路であります、即ち私の許に不良少年惡少年となつて參る處の子供を調べて見ますと、お父さんが早死をされた、お母さんは若ければ再緣をするとか、さうでなくても未亡人の手一つで財產を整理し遺子を敎育して行くことが難しいといふやうな事情から親類會が開かれ、子供はつひに叔母さんとか叔父さんとかいふやうな方に預けられることになる、そこで叔父さん叔母さんは預かり子だから〱といふ考から餘りに注意が過ぎる、干涉が多い、其親切が子供には却つて不親切となつて、惡い結果を見るに至たものが多のであります。

これに就いては近著「母と子」の中にも名家の遺子として書いてありますが、叔父さん叔母さんといふやうな人が、親類の遺子を預つたといふやうな場合に、その亡父の志をつがせやうとするのは、人情でもあり、また世間普通の風でもありますけれども、もと〱人には各自もつて生れた器といふものがあつて、醫者の子必ずしも醫者ならず、軍人の子必ずしも軍人ならずであるから、强ひてさう考へるのは誠に不自然な事で、第一の誤りであります、尤も一方から申せば子が親の業を繼ぐといふ程立派な事はなく、親としても亦子に我が業を繼がせ得るほど親の德を表はす事はないのです、何となれば親が社會上に於ける地位、德望等に子供が常に心服して居れば、自分も必ずお父さんの樣にならうと務めるのです。鳩山さんや高木さんなどまだ幾らもありますが御子息がお父樣のお仕事を繼いで入らつしやるのは、傍から見ても實に立派なものであります、しかしこれは父親が存在して居つて、感化を子供に及ぼせばこそでありますが、父親死亡の後、其方の傾向もない子供をして無理に父親の遺志を繼がせやうとするのは甚だ間違つたことであります、しかも之れはたゞに精神上に於てばかりではなく、叔父さん叔母さんは財產管理の責任をも、あまりに考へ過ぎて帳簿をやかましくし、小遣なども成るべく使はないやうに〱と注意をするのですが、それがまた子供にとつては不滿足でならないのです、處へもつて來てもとの三大夫だとか、乳母だとか、或はまた遠緣のものだとかいふ人達が、惡く氣を廻して、叔父さん叔母さんが恰も其子の財產を橫領でもして居るかの如くに思ひ機會を見ては、その事を子供の方に仄めかす、そこで子供の疑惑はだん〱長じて行く時分、こゝにまた丁度友人の同情といふものがあらはれ、其友人が善くない人で、惡い方に誘化され、唆かされてはつひ良くない行動をも敢てする恐しい靑年となりかけます、すると、伯父さんや叔母さんの監督も一層嚴しくなる、一方はまた不自然の區域から逃れやうとする、斯ういふ事情が互に相助て、子供は惡くなるばかり、詐りはいふ、遊蕩はする、竟には叔父叔母の預つて居る財產を强奪しなければならないやうな事になり、いつしか驚くべき犯罪の兒となるのであります。

これは例へば戰死將校などの遺家族などは勿論のこと、すべて人の子を預る人達に深く考へて頂き度いことであります、もし子供の方に少しでも繼子心の生じたことを認めたならば、もはや伯父さん叔母さんの手元にその子を置くは宜しくない、速かに學校の寄宿舍とか宗敎家等の手に託して可然監督を賴まねばなりませぬ。



京都嵐山渡月橋の夏景

若葉さす
かた山はやし
露ちりぬ
花にいとひし
月の
名殘に
千蔭

●如何にして家庭の圓滿を保つべき

鳩山春子

「嫁を貰つてから家庭に風波が起つて困る」と申す人が往々世間に在りますが、私宅では、三年以前に長男の嫁を貰ひましたが、未だ一度も左樣の心配はありませんでした。又此頃次男に妻帶致させたのですけれども、これも左樣の心配は些少もありそうに想ひません。勿論、私は現今如何にして兄弟仲を善くして家庭を圓滿に保つべきかに就き研究中であります。死と言ふ言葉は何んとなく異樣に響きますが、私等は一度は慥に死せねばならぬので……、親たる私等が死した後で、兄弟仲惡しく後繼者たる息等の家庭の折合が面白くなく、風波の度が在りましたらば、死し行く親の身は容易に瞑せられぬではありますまいか。

さて、家庭に波亂を惹起す基となるもの、先づ第一は告口陰口だと存じます。一方の人の事を惡樣に片方の耳に傳へることの誠に宜しからぬ擧動であるのは申すまでもありませんが、獨り惡い批評ばかりでなく、假令善良い事柄にしても、一方のことを餘り片方の人の前で賞賛まするると、よし夫れが全く善意で述べた詞でも聞く人の身には或は自己の不束を諷するかのやうに聞かれる事があります此外、嫁が夫に告口をする事や、姑が婢などに嫁の評判をするなど、眞に些細な不注意に過ぎぬやうでありますが、之れが源因して一家の和樂を傷ける事が世間に多くあるやうに見受けます。決して笑ひごとではありません、一家和樂の秘訣は此處だとでも申したひ程で、實に愼む可きは告口陰口であります。尤も嫁を其夫たる息に責める事は差支なきのみならず姑としては寧ろ若夫婦を幸福ならしむる上に必要かと存します、これは話す相手を選ぶべきであります、甲の嫁のことを乙の嫁に告口陰口するは最も戒むべき事であります。

又家庭の仕事の分擔を定めて、各自負擔の範圍以外の事には一切語を入れぬやうにする事や、嫁の室を神聖にして、舅姑等が決して夫れに干涉せぬとか致すのも家庭を圓滑にする條件の一つと存じます。

尙又、社會的に老人を敬愛する會と云ふやうなものを造つて、既に一家の主權を嫁に委ねて了つた後の老人連を集めて何等かの方法に依り慰藉を與ふるやうにするは家庭の圓滑を保つ上にも價値ある事であらうと信じ、この樣な企の起らんことを希望します。（文責在記者）

●六彩居小集

若楓

京に近き采女が里や若楓　素竹
若楓汽車幾度か去る戰ぎ　小波
築山に玆一點を若楓　松宇
なつかしき物爪紅さしゝ若楓　鳴雪
茶を酌む寺の小姓や若楓　無黃

蝸牛

雨華庵の軒端甜るや蝸牛　黃雨
でゝ虫のころゝ落けり釣瓶繩　松宇
風一陣蝸牛の角すぼめたる　素竹
叩かれて板木を落ちぬ蝸牛　小波
板金剛履かんとすれば牛蝸　鳴雪
花實の籠這ひ出でぬ蝸牛　無黃

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

海の内外

⊙故英國皇帝陛下大葬餘聞　英國皇太后アレキサンドラ陛下には大葬の折、濃黒色の薄きヴエールを被ひ、光輝燦爛たるガーター勳章を佩用せられました。陛下がウエストミンスターに於て下車せんと遊ばすとき、獨乙皇帝陛下は急ぎ陛下をお馬車から扶け下ろし、慇懃に接吻をなさいました。又陛下は御乘車に先ち、故皇帝陛下の愛馬愛犬を輕く御撫で遊ばしたと申す事であります。

和蘭の漁夫の妻

⊙西班牙皇后陛下死兒御分娩　あらせられ、陛下御自身は極めて御滿足の容態にあらせらるゝ旨、去月二十二日着のロイテル電報は海を越えて遙に報知致して居ります。

⊙朝香宮御披露宴　朝香宮鳩彥王、同妃允子內親王兩殿下は御成婚御披露の爲め既に第一回の御招待會を催させられましたが、偶、英國皇帝崩御の事がありましたので、以後の御招宴は御中止に成つて居りましたが、愈六月一日、二日の二回に分ち、霞ケ關離宮で內外文武高官及貴紳七百餘名を御招待遊ばされ、盛大なる御披露の御招宴催させられる由に承ります。

⊙西三條伯爵家の光榮　七卿落の一人で最早長者でありました故西三條季知卿は、明治十三年に薨去されまして、本年は恰も三十年忌に相當致しますので、令孫實義伯は去月二十四日に祭典を執行されましたが、事畏くも天聽に達し　兩陛下より祭粢料と御菓子を賜はり　皇后陛下よりは特に左の御歌をさへ賜はりました。

さやかなる聲こそのこれ言の葉の
道しるべせしやまほとゝぎす

⊙赤十字社總會　六月三日、日比谷公園にて開催、皇后陛下並に東宮妃殿下も御臺臨あらせられる由に承ります。

⊙軍神廣瀨中佐銅像　は神田區萬世橋のほとり、須田町の目拔きの地に建設中でありましたが、去る二十九日に盛大な除幕式が執行されまして、東京市中に名所が一つ加はりました。

⊙岩倉公爵家の美擧　岩倉公爵家では、故具定公五十日祭につき去る二十日靈前祭を執行されましたが墓前祭の費用をはぶき、總額金二千圓あまりを東京慈惠會、養育院、赤十字社、愛國婦人會、等の慈善團體に寄附いたされ、この外青森市や其他にも多額の金子を寄附いたされました。

⊙獨逸婆さんの光榮　獨逸の都伯林で、從來幾多在留中の日本人を親切に世話しましたフオン・フーゲルストレーム夫人は本月十二日で、滿九十歲の高齡に達しますので、世話になつた桂侯を始め九十四人の日本人が醵金して、九十歲の誕生日を祝ふことに相談が纏まり、合計金千五百馬克を光淋の漆器筥に納め、輕氣球研究の爲め渡獨せられる田中館博士が持參せられたそうであります。

⊙子守學校　と云ふのが、牛込區横寺町に設立されました。授業は午前と午後とに分ち、奉公先きの都合に依り便宜に通學が出來、授業料も日掛になるそうであります。帝國婦女學會の附屬事業で、設立者は陸軍一等軍醫の夫人宇山錸子氏。

⊙結婚費六千萬圓　とは如何に米國の出來事とは云へ、餘りに莫迦々々しいのですが。世界の鐵道王と云はるゝエドキン・グールド氏の令孃マリジヨリー・グールド(十九)と米國屈指の富豪アントニー・ジナン氏(廿二)との結婚式があつて、其の費用が六千萬圓要つたそうであります。花嫁に對する祝品も、之亦二千萬圓の價額に上つたとは、遉に租宵初まつて以來未聞の事だと申されて居ます。

●和蘭の話（上）

東京外國語學校長　文學博士　村上直次郎

▲海面よりも低い國

和蘭は歐洲の北西海岸に添ふた、小さい國であつて、陸地が平面で、海面より低い所もある、從つて海水の浸入を防ぐ爲めに堤防を築いた所もある。又河水が陸地より高い爲めに、その岸に堤防を築いた所もあるのである。

和蘭が、イスパニヤの政府に反いて獨立しやうと企圖た時、イスパニヤの軍隊に防圍されて居つた時に、ライン川の堤防を斷つて、其地方を一面の水にして、防圍の解けた事も、和蘭の歷史には有名なる話である。

又或る河の堤防に、小さな穴があいて、此處から水が少々づゝ漏れて居るのを見て、その儘に棄て置けば、遂に堤防が破壞し、隨つて町が浸水の禍に罹る事を心配して、其處を通りかゝつた一人の子供が、掌を以て其の穴を抑へて、水の漏出を止めて、外に人の來るのを、來るまで待つて居て、遂に一夜を過ぐしたと云ふ、子供の勇氣の話などもある位である。

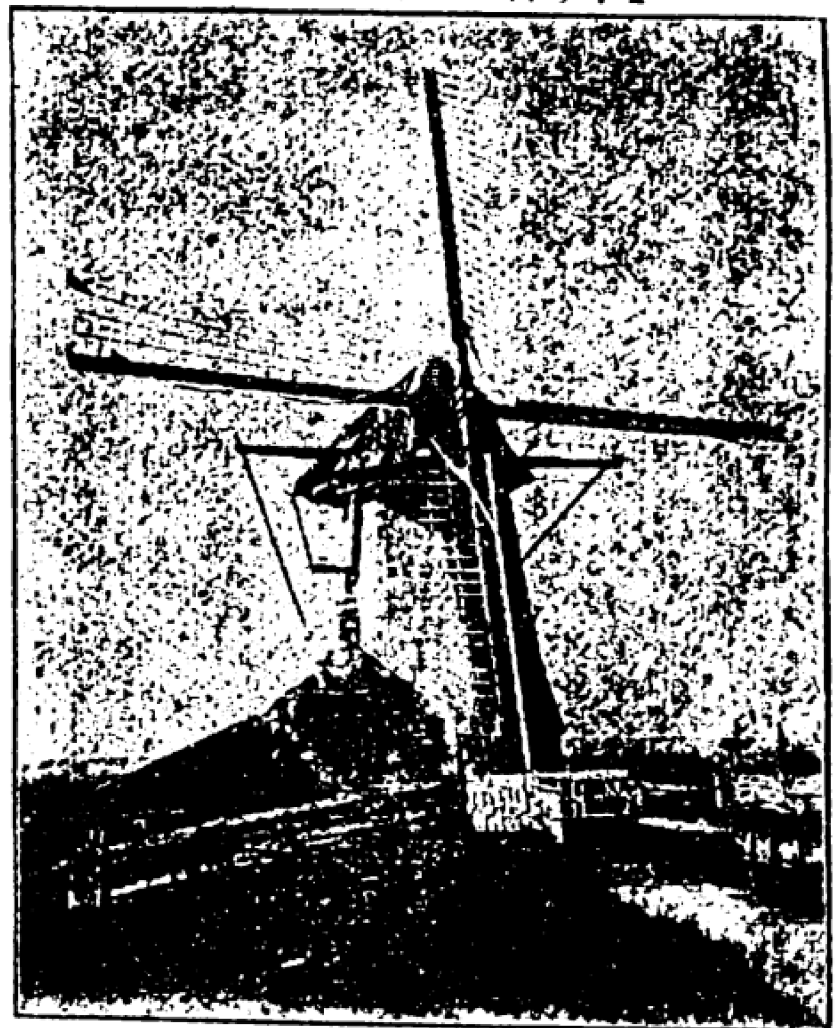
和蘭風俗

▲橇に乘つて國の端から端まで

それで、和蘭に行つてみれば、特に旅客の注意を惹くものは、水の多いこと……河だの、運河だの、池だのも多い、又大小の溝渠が澤山にあつて、家だの、通路だの、田畑などの境にもなる。殆んど和蘭の國內は、水によつて何處までも行ける位である。冬になると、其水が一體に凍る。ライン川の如き大きな河でも、往々軍隊が大砲を引いて渡る事が出來る程に凍つて了ふ。その氷の表面をつたつて、橇によつて國の端から端まで旅行が出來る位である。

▲名物風車

次に旅客の眼に付くのは、風車である。其れは圖の如く四本の棒に帛布を張つたものであるが、これは、和蘭の土地が一體に平面で、山と謂ふべき山は殆んど無い程であつて、風が大變に多い。その風を利用して、粉を磨いたり、木材を鋸るのに使つたり、紙を製造したり、或は又田畑の配水などに使用するのである。


和蘭名物風車

▲產業は牧畜及漁業

和蘭は、前述の如き國柄であるから、沼地だとか、或は埋立て地などが多くて、耕作に堪へる土地は割合に尠少から、農夫は隨分骨を折つて働かねば、充分收穫する事は出來ない。從つて產業の主なるものは、主として牧畜、漁業などである。

▲日本と和蘭との交通

●和蘭國唯一の國旗が長崎出島に飜つた

和蘭が。昔イスパニヤから獨立した後に、一時歐洲の最强國の中に列するに至つたのは、斯の如き國柄である爲めに、國人が非常に勤勉し、總ての困難に倦まず、撓まず努力したからである。

又其の國が海に臨んで居る爲めに、大に海軍を盛んにし、競ふて海外貿易に從事した爲めである。

其の時代に和蘭人は印度を經て、南洋に來り、遂に慶長十四年、即ち今日より數ふれば三百二年前に、始めて我日本に渡來して、肥前平戶に商館を置いて、我國との貿易を開き、寬永の末に、德川幕府が外國との關係を絕斷つ政策を決行するやうになつてからは、和蘭人のみが、長崎の出島に商館を置き、年々商船を此處に送つて、貿易を爲す事を許されて、遂に維新前にペルリが亞米利加から渡來して日米通商條約を締結ぶまでに至つたのである。

嘗て、歐洲に於てナポレオン一世の勢力が最も隆盛であつて、和蘭も佛國の屬國となつた時代には、一時、世界上に和蘭の國旗の飜つて居つたのは、長崎の出島の和蘭商館に於てのみであつたと云ふやうな折もあつた。

因に云ふ、和蘭が一時歐洲の最强國の中に列した當時には、學問や技藝も大分進步して居たが、中にも、繪畫に於てはルーベンス、レンブラントの如き第一流の大家があつたし。ダンバイクテニーイルス等も有名なる畫家であるし、亦和蘭に於ては第三流とも云ふべきハルスの畫の如きも、近頃米國に於て三十萬圓に賣れたと云ふ位である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

●子供と和歌

御歌所長男爵　高崎正風氏談

▲作歌の本意

咏歌と家庭教育と云ふ問題に就ては別に具體的に考へたことはない、併し元々歌と云ふものは、さま〲の境遇に立つ人々が情の發する儘を言ひ現はすと云ふのが本來の目的である、歌が文學的美術的になるのも決して惡いことではないが文學的美術的にしやうと思ふのは、作歌の本意ではない、同じ一つの物でも見る人の心々で想ひ方が違つて來る、悲しい事、嬉しい事、樂しい事、嫌なこと、美しいこと、醜いこと、人さま〲の想ひを言の葉に發するのが歌で、昔の萬葉集などは即ちその當時の人情をその儘歌つたのである、私は今日の家庭に於ても此趣意で子供に歌を咏ませると云ふことは家庭教育上大變に宜しいこと丶思ふ。

▲歌は何う咏む

嘗て或人が私に歌は何う云ふ風に心得て咏んだら宜しいか、と問ひましたから、私は『敷島の大和ことばの花櫻變らぬ色のめづらしきかな』櫻の花は毎年咲く一向珍らしくはないが、活物であるから人は年々之を愛ではやして賞觀する、歌もそれと同じに心得れば間違ひはないと申したことがある。

▲最初は出放題

子供に歌を咏ませるには、最初は出放題の口語を以て、野に行き、山に往き、或は運動をした、草花を摘んだと云ふやうな時に、その在の儘の心を叙させる、然うすると自然情を發する基になつて心が素直に、順良になつて來ます、幼ない中に點取などを競爭させたり、子供の心に耳馴れぬ古い語などを強ひて遣はせると云ふ事は宜しくない。

▲歌を咏せれば素直になる

我が此間名古屋に參つた時、一日、三河境に近い八琴山と云ふ山へ登つた、其山上に八勝亭と云ふ亭があつて大變眺望が佳い、其傍になか〲廣大な規模で育兒院が立つて居つた、大勢の子供を育て丶居る、そこに昔英照皇太后陛下に奉仕した一人の女官が居つて、其人といろ〲歌の話などが出たから、私は子供を育て丶行く間に、一つ歌を咏ませて見たら不幸な境遇に在つた爲め、曲つた子供の心が素直になるかも知れないと申して來たことがあります。

▲六つになる梭子の咏歌

私の孫に大島梭子と云ふ少女がある、今年七つで漸く小學校へ通ふやうになつたが、昨年の五月京都の方へ參りましたとき、その弟の義豐の初節句を祝ふ爲めに武者人形飾馬などを求めて遣はし、幼子の歡ぶ顔を見て、私が御前も軍人の息子だから豪くなつてお馬に乘るのだよと云て脊を撫でました、それを當時六つになる姉の梭子が開いて居つたものと見え、私が東京に戻ると斯う云ふ歌を咏んで寄越しました。

義ちやんと一所に豪くなりましてやぢ樣を喜ばせます

四の句が一字足りないが子供が咏んだ儘であると母親は手紙を添えて寄越した兎に角意味が好く通じて居ますから、私はその素直な心榮えが非常に嬉しく

素直なるおさなが歌は打つけに神の御聲を聞くこ丶ちせり

と咏んで遣りましたさうすると、又本年の一月、母親がお祖父樣が大變御喜びださうだから新年の雪を詠んでお上げなさいと言ひ、且つ新年の雪と云ふのは、お正月雪の降つた景色だと、それだけ言つたさうですが、梭子はハイと言つて小さい机の前に座り、三分ばかり考へて斯う云ふ歌を詠んだと云つて、申越しました

新らしき着物着換へてお正月雪の達磨を造るうれしさ

これこそ眞に詠歌の聲で、歌も斯う云ふ風に應用が出來れば幼兒の家庭教育の上にも効果があらうと思ひます。

史傳

●瀬川之子　（上）

ふく子

上野に行かれた方は、誰方もお氣付きでせう。山下で電車を下りて五六間行くと直ぐ右側に五條天神樣があります。元は境内もずつと廣く、此邊は料理店だるまの角まで一圓に天神樣の神主の所有地で有つたのださうです。記者は、不圖此天神樣の神官の夫人で有つた。瀬川之子と云はる丶方の話を聞きまして、大層感心致しましたから、御紹介申升

▲女子の天職

凡そ女子の天職は、何であるかと、申しますと、詮ずる所、良妻賢母即妻として、母としての道が、完全に出來れば、十分なので有ります。或は、中には、區々たる家庭の仕事には、滿足出來ずして社會的の事業に身を委ねるとか、或は深い學理を研究するとか、男子をも凌ぐ程な事業を企て丶、名を現はす偉い婦人も御座いますが、其れは、例外で、普通一般の婦人が、理想とすべきは、家庭に於ての務であらうと思ひます。所が家庭を善く治め得る程の才智識能を有して居られる女子は、何うも、兎角一家内の事に甘んじて、勉めて居られないものと見えまして、外に向つて活動し始めます、其れが餘力丈を、他に注ぐのなら、誠に結構で、家庭も善く治まり、其上外の事まで、手が出せると云ふのでありますから之程働きが有れば、其れは、實により以上の御婦人なのです。けれ共幾何才學が有りましても、内外に十分盡す事は容易の業では有りませぬから、往々餘力の有る方は外に熱心になり過ぎて、家がお留守に成ると云ふ傾が出來して參ります。其れで、若し此十分なる力を有する婦人が、家庭の仕事を輕視しないで、善く運用したならば、定めて、妻たり、母なる立派なる功績を擧ぐる事が出來るであらうと思ひます。曾つて、或雜誌に今の時代の男子は、常に婦人に向つて、二の點を望んで居ろと思ふ。それは男子の仕事を理解して、眞の同情を以て補佐して欲しいと云ふ事。と或場合には男子に代つて、事を執り得る力を持つ事。例へば、一家の主たる男子が萬一なくなつた後にも、能く家を處理して、子女を立派に育てて行き得る程の婦人で有りたいと云ふ事。然し今の婦人に果して、それが出來やうかと云ふ心配は、多くの男子が懷いて居る云々と御座いました。誠に、此二つの事を成し得らるれば、女として成功したもので有ります。そして此二をなすには、十分なる智識も能力も、要するのであります。瀬川之子は實に此二を立派に成し遂げた賢婦人なのでございます。

▲坊さんで神主

徳川氏十二代將軍家齊公の頃幕府の御連歌師として、瀬川昌淳、坂成功の二家がありました。瀬川家は即山下の五條天滿兩天神の神主で有りまして、又代々幕府の御連歌師を勤めたので有ります。御連歌師と云ふのは、將軍の御連歌の師匠で之は二人外に御連歌衆と云ふのが五名御座います。皆坊主頭で務めるので有りますから、坊さんで神主と云ふ隨分妙な者で御座います。

▲美しい御新造

之子は與力の娘で、廿歳の時此昌淳に嫁しました。容貌が花の樣に美しくて何となく氣品が有り、女の業は何でも辨へて居る、裁縫は勿論巧みで早く、活花、茶湯、琴、三味線等皆奥まで極めて居ると云ふ婦人であります。姑に事へて至らざるなく、伉儷また甚睦じく、眞に平和な幸福な月日を送つて居たのであります。只不足なのは、子のないと云ふ事ばかりで有りました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎婦人と碁

喜多ふみ子

●碁のお上手な方

碁は御婦人の間にも大分流行して居りますけれども、何う致しましても御婦人は家事向の御用が多う御座いますうへ、この碁と申すものは初めが面白くないもので御座いますから、折角御初めにはなりましても長くお續けになる方が少いので御座います、まづ三年も續けて遊しますと隨分面白味が添つて參るので御座いますが……私はお稽古の時間を大抵三時間位として居りますけれども、初めのうちは碁盤に對つて居るのが一時間位で、あとは碁についてのお講釋でもいたして歸ります、がだん〳〵お稽古が積みますと三時間ではもの足りないやうな御樣子が見えるやうになります。御婦人中では大坂の廣岡淺子さん、あの方位にお打てになる方は東京にも御座いませんでせう、それに次いでは高田愼藏さんの奧樣などがお上手で入らつしやいます。

●頭の活きが肝腎

何によらず御座いますけれど、碁も亦お若い方の方がお進みが早う御座います。もうお年を召してから慰みに初めるといふやうなのは、樂しみよりも苦しみの方が多くて、なか〳〵ものになり難いやうで御座います、何しろ碁は他の遊戲などゝは違ひ、手先の器用不器用といふやうな事には餘り關係なく、頭の活が肝腎なので御座います。兎に角、數理とか心理とかいふやうな事に關係をもつて居ることで御座いますから、碁の心得が御座いますと、婦人が家事をとる間にも、例へば仕事の順序とか經濟とかいふものの上に大分應用がきくやうに思はれます。尤も碁は婦人に適するか何うかといふやうなことは自然また別問題で御座いませう。

●手合の樂しみ苦しみ

碁は靜と座つてばかり居りてする事だから、身體のためには嘸惡からうと思はれますが、實際は左樣でも御座いません。私などは見かけもあまり丈夫では御座いませんし、親戚の醫者なども身體に障りはしないかと心配して呉れるので御座いますが、至つて達者に過して居るので御座います。身體は靜として居りましても心は隙なく動かして居りますので、お腹も隨分空いて參ります。尤も手合の時などは月に何うしても五六番は致さなければなりませんが、午前の九時から午後の九時頃まで、時に二日間を費すことは珍らしく御座いませんが、この時を隨分苦しみますので、勝つた時はもとより嬉しさに何も忘れて了ひますけれども、負けとなりますと隨分疲れを覺えますので御座います。

家庭叢談（四）

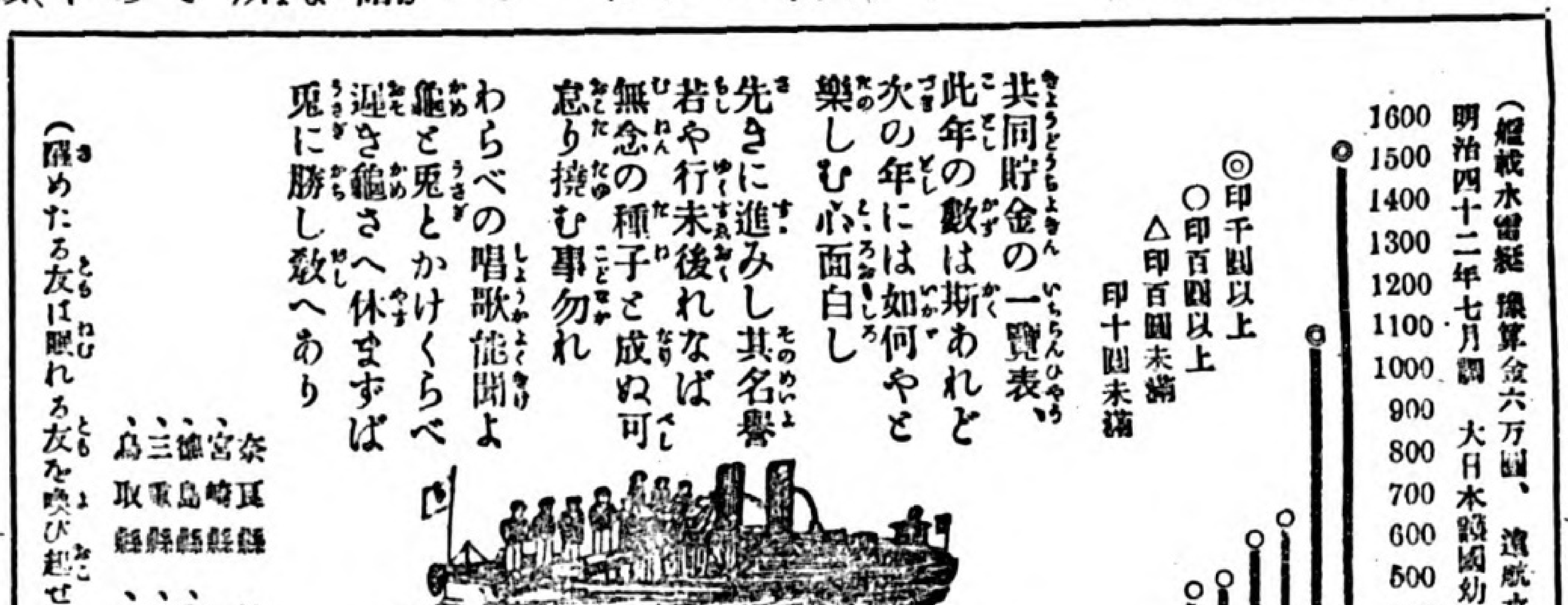
三千子

二人の女に衣服の繕ひを、させましたらば、甲は破れた所を極體裁よく直して持つて來ました。乙は繕ひ方は拙いが、其外の損所を檢めて、八ツ口も、一寸共切れで、止めて、持つて參りまして、此所も亦切れるといけませぬから、序に直して置きましたと申しました。私は之に就て直ぐ、此樣事を感じました。近頃は甲の女の樣なのが、段々殖えて來て、乙の樣なのは、少くなつたかと、思はれます。人々がする丈の事さへ爲ればよいと、云ふ氣で、其以上の親切が乏しくなりました。責任々々と、喧しく云ふ結果、責任さへ果せば、其以上出來ても、爲ては損だと考へて居るのでせうか。其れも、責任が十分盡せれば、まだしもですが、自分の責任のある事さへ、お役目でするのが多いやうです。斯う深切氣が薄く成つては、誠に心細い譯でございます。女は況して、此深切な優しい心が大切でございます。私が姑に成つたら、技は拙くとも、乙の女のやうなのを、息の家內にして遣りたいと思ひます。

晴の裝をする時に頭の先から、足の爪先まで、調和しないと見惡いものでございます。粹なお召の上に、野暮な羽織を着たり、日本髷に、ハイカラの手袋をはめたりすると、折角骨を折て、着飾つたのも、只一ケ所の不調和の爲に、何んな美しさも打消されて仕舞ひます。さればとて、日本の座敷に油繪が調和せぬとは限りませぬ。

◎或御夫人が左右の御手に指輪を三つ宛はめて居られたのを見ました時に、只く、どいと云ふ感じが起つたばかりで、更に美感は起りませんでした。裝飾と云ふ目的ならば、有り丈の物を無暗に付けたとて、何にもなりませぬ。如何お美味ひ御馳走でも、餘り澤山では嫌になります。

◎陽氣が善く成つて、大分方々へ人が出ます。私宅へも、お客樣が度々お見えになりますが、直ぐ側なので能く觀音樣へ御一所にお詣りを致します。今迄一所に參詣を成された方であの一つ家の額や猪の隼太の額を御存知の方は一人も有りませんでした。私共が子供の折に兩親に連れられて、淺草の觀音樣へ詣れば、必ず此額の說明を聞かされたものですが、今は悠々と額なんぞ眺めてゐるものはありませんで、皆忙しさうに、活動寫眞の方へ向つて行きます。◎



◎夏の獻立

◎鮎の鹽燒は鮎のこけを去り、えりと腸をも取り、金ぐし二三本にて腹部をこさぎ、よく水にて洗ひ、鹽をふりかけおき、燒く前に鹽を洗ふべし、さて串にさし強き遠火にて燒く燒けたらば直ちに串を廻して拔くべし。

◎おしそら豆は新蠶豆の皮をむき、ちと鹽をふりかけ湯でゝ笊にあげ、圓扇にて冷し鍋に入れ水少に鹽と白砂糖にて煮つめ、溫きうち袋こしにてこし、團子よりも少し大きさに丸め、布巾につゝみて絞り、二つ三つ位鮎の付合せに用ふべし。

◎生姜は月生姜の外皮を剝き、熱湯を注ぎ酢につけて添ふべし。

◎膠元と生麩の煮しめ、生麩を程よく切り、醬油砂糖に鰹節を入れ甘からに煮、膠元は前後と筋を取り湯でゝ麩を煮たる汁に醬油砂糖を加へて煮るべし。皿に盛り分けにして出すべし。

◎牛肉の胡麻煮、胡麻五六勺を煎りて摺り、其中へ牛肉を大切のまゝにて入れ、つけおくこと二三時間、さて牛肉を取り出し、薄く切りて砂糖醬油にて胡麻共に煮るべし、なか〳〵に風味よし。

◎しこ鰯のつみ入、しこの身をはなし骨を取り、その十分一の麥粉と、十分二の味噌を入れて摺るなり、もし鰯なれば皮をむくべし、味噌はまづ爼板の上にて庖丁にてよくたゝき、麥粉と魚の身のよくすれたる中へ入れ、味噌をあまり摺らぬやうにするなり、さて長めに丸めて湯で砂糖醬油にて煮る。小丼に面取大根など付合にして盛るべし。大根も皮をむき面取にしてよく茹で、味淋砂糖にて十分に煮、汁の煮つまりし後醬油を入れて煮るべし。

頭髮の薄き、惡しき、拔毛に苦しむ方よ
毛髮洗滌液 ペトロール、ハーン

は目下歐米到る處に高評嘖々たるものにして、毛髮を濃厚にし、フケ拔毛を止め、光澤を增し且つ柔軟ならしむ、而かも馥郁たる香氣あり使用復永く快感を覺えしむ眞に神妙なる逸物なり（各地有名なる化粧品店にあり）
代價 小瓶一圓廿五錢 大瓶二圓
橫濱市山下町七十番 エー、ハイム商會

日本橋區元大阪町八番地

高木與兵衛

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎雪のあした　（七）

京都大學講師　池邊義象　（禁轉載）

(一)雪のあしたのあらしは、こずゑの花のちるふせい、なごりをしきは、とにかくに、まちゐし君のかへるさ。

雪の朝の梢の眺を、風のふきちらすは、さながら花の散るがごとく、名殘惜しき心地するを、とにかくに心くだきて待ちゐし君が、曉のわかれは、その花にまがふ雪のふきちらさるゝがごとく、名殘をしとなり、着想いかにも優なり。

(二)あさましや、わが身は雲井の雁に、夕霧のおとしめられしおもひをば、いつの世にかはわすれむ。

この段は、源氏、をとめの巻によりたるなり、夕霧は源氏の御子、雲井の雁は伯父内大臣の御女なり、この間からのことにして、夕霧と雲井雁とは、互におもひあひたまふ中なりしかど、雲井のまゝ父按察使大納言の、夕ぎりの位卑しきを貶しめられしことあり、雲井の雁夕ぎりとおもしろく取成したるは、本つく處はあれども、手ぎはといふべし、事の次第は本書によりて知るべし。

(三)まどろめば、おもかげの、しげ〳〵とみぢか夜に、ほとゝぎす、はつねに夢ぞさめける。

戀人を見る夢の、杜鵑にさまされたるをかこちたるさまなり、みぢか夜は、夏の夜のことながら、前句のしげ〳〵と見るといふよりいひかけたり、杜鵑のはつねはよろこぶべきを、戀人の夢さまされたるが故に、なか〳〵にうらみたるが趣向のあるところなり。

(四)なかむれば、いとゞたに、戀しき人のこひしきに、くもらばくもれ、秋の夜の、月にうらみはあらじな。

これは金葉集藤原基光の歌『眺むれば戀しき人のこひしきにくもらばくもれ秋の夜の月』とあるによりてつくれるなり、月を見れば戀しき人のいとゝ戀しくてせむかたなければ、曇らばくもれくもりたりとて、月をばうらみじと歎きいへるなり、月は照れるを愛すべきを、戀の情よりかくいへるは、前段の杜鵑のはつねと同じき趣なり。

(五)峰のあらしのかよふか、谷の水のながれか、ねさめにきゝし松風は、琴のねにたがはし。

琴のねの松風流水にかよふといふことは、珍らしきことにあらず、有名なる齋宮女御の『ことのねにみねのまつ風かよふらしいつれのをよりしらべそめけむ』紀貫之の『あし引の山下水にゆきかよひことのねにさへ流るへらなり』など歌にもあまたあり、煩悶はれて、心すゞしく琴の音をきくをいふなり。

(六)葵上のときめき、加茂のものみをりから、車あらそひつれなきは、ふかきうらみなるべし。

この段は、源氏葵の巻の車爭ひのことによれり、葵上は源氏の嫡妻なるか、その時めきたまふ折柄、賀茂祭の物見車を、六條御息所と爭はれしことあり、御息所は、この時耻しめられしをうらみとして、遂にものゝけとなりて、葵上をとりころされしなり、こゝにてはかの御息所のつれなくせられたまひしことく、人よりせしめらるゝつらさは、げにもふかき恨みなるべしとなり。

＊　＊　＊　＊　＊　＊

この一組は、初に戀人のいそぎかへる名殘ををしみ、それより昔物語にうつりて、貶しめられて思ふことの成らざりしうらみを述べ、さて杜鵑月に對する情をいひ、一轉してねさめのことのねのすゞしきに及ぼし、遂にまた立かへりて、六條御息所の車爭ひの故事をいひいでゝ、人のつれなくせらるゝ恨を述べたるなり、意馬心猿の馳せて止らぬさまなるべし。

●衣服のあらひかた　（二）

高山繁氏述

▲紺飛白地の洗濯

紺飛白地の新しい時、直ちに曹達洗ひを爲ますると、垢の除かるゝことはたしかであるけれども、著しく紺地を害し、色をおとしますから、初め二三回の洗濯には決して曹達洗ひを爲てはいけません。他の洗ひ方を行ひ、それにても漸く色がはげて行きますから、最早曹達洗ひのため、著しく色のはげない程度となつて、初めて曹達洗ひを行ひます。其方法は洗濯曹達十匁許りを、凡そ一斗の熱湯に溶解し、其熱い液の中に洗濯物を浸しますことが十分乃至二十分の後、汚れたる部分をば、揉板にかけて揉み洗ひを爲し、充分に垢の去つたところで、水洗し、氷醋酸三匁許りを凡そ一斗の水に溶かした液中に、右の洗物を暫時したして絞り上げ、尚一回水洗し、更に絞りあげて、糊附けをなし日光に乾かします。

それでは、始め二三回の洗濯の時には、如何致すかと申しますと、先づ氷醋酸五匁を水一斗ばかりに溶解した中に、暫時洗濯物を浸し、垢の附きたる部分のみ、唯ブラシで擦り洗ひます。夏物の汚れは汗の附いたのが多いのでありますから、此の汗は醋酸液で洗ひ除かれます。但し石鹸洗ひは、紺飛白地には全く禁物であります。又曹達洗ひを行ふた時は前に述べたやうに、最後に薄き醋酸液に浸くる事が必要であります。

又糊付の方法は、中形の糊付けと紺飛白とは、小々異つて居ります。先づ紺飛白には糊も種々の種類を用ひますが、蕨糊が最上等でありまして、次は布海苔、次は生麩糊、米糊であります、小麥糊は一番劣つて居ります。

(一)蕨糊、を附くる法は、先づ蕨糊凡そ五合を、三合許りの水にて能く練り解かして、釜に移し、二斗位の液と爲して十分間位煮沸し、次にベレンス青少しばかりを加へ、木綿片で漉し出して用ひます。

(二)布海苔　これには種々あつて品質が一様でありません。薩摩布海苔の如き品質の良きものでありますれば、八匁位を、十五分以上水に浸漬し、木綿片で二回程漉し、必要あらばベレンス青を適度に加へ、混和して使用します。普通には布海苔を煮て使用致しますけれども、布海苔は煮沸すれば、糊の効が減じ、且つ布の光りを現はすに害となります。

(三)生麩、米糊、小麥糊　孰れも先づ水で練り解き、乳狀となし水を加へ煮沸して用ひます。

夏の衣裝

青葉隱れに杜鵑啼く期節となりましたが、今年の夏衣裳の傾向は如何なものかを聞くがまゝに書き立てゝ見ますれば、先づ▲儀式用の衣裳としては春以來の傾向が餘り變らず、地質は縮緬で色合は矢張り鼠本位の稍薄いもので、若い婦人には藤本位の物が多いやうであります、模樣は何んと云つても有職式全盛で一時流行致した金春式や光琳式は殆んど廢たれた傾があります▲縞物では矢張りお召が全盛で從來の物とは異ひ、大に織方に變化ある物が多く出來て居ります。又銘仙に友禪式の模樣を現はした新柄も出來て一般に色合が薄くなつたのと鼠細などを加味した物の流行するやうで、價も餘り春以來と變りなく十四五圓位の物▲帶は昨今最も多く賣れる時期でありますが、地色は鼠、クリーム、千載茶等が本位となつて居り、地質は紹繻珍等のやうに重いものは頓と廢れて來て、今春新に現はれた綸式の物が全盛で、殊に銀波織、濯影織等が上品向でありますが、之れも主として有職式の模樣を現はした物が流行致すやうです▲中形は追〻變つた物が出て來るので確定とした處は判らないが一般に模樣は從來よりも小さく上品になり、又新に小供物としてお伽式の上品な物が出て來ました、地色は白が大部分を占め次に納戸、鼠等で模樣は堅縞、杵、花綾、七寶等が面白いものであります。

●扇子博覽會　神田今川橋松屋呉服店にては曩に獨逸伯林にて開催せられたる扇子展覽會に倣ひ同店樓上にて專ら優雅を主としたる古風と今樣の種類を蒐めて六月一日より扇子博覽會を開き向諸大家揮毫の扇子に限り開會中に即賣する由。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

●蚤の人に及ぼす害毒

傳染病研究所技師 醫學博士 宮崎幹之助氏談

▲蚤の發生時期は來れり
▲小供を持つた親の注意
▲蚤の發生を防ぐ藥

△蚤の種類　蚤と言ものは其種類約五十種もありまして何れも暖かき時候となれば發生し始め卵より本物になるまで四週間位かゝります蚤の内には犬の體や猫の體にすむものもあれば鼠の體に住んで血を吸ふものもあれば家に住んで人間の血を吸ふものもあります其內印度蚤は實に浮氣なもので犬で御座れ娘さんもよし婆さんでも結構男でも小供でも手當り次第に誰れの血でも吸ふものであります其れだから遠い印度から遙々日本にまで出かけて來たのも浮氣の證據です。

△蚤の害毒　世の中では蚤を左程恐ろしがらぬ樣ですが實は甚だ危險なものでペスト菌を此蚤が傳播する場合が多い卽ちペスト菌のある血液を吸ふてから後他の血を吸ふ場合には吸口より此ペスト菌を播いて行くので其れは蚤の血をモルモットなどに注射して試驗を爲して見れば直ちに判然します此の如く蚤といふものは實に危險なものです

△蚤に喰はれた時の注意　吾々が蚤の爲めに始終苦しめられ殊に小供などは蚤の爲めに安眠する事も出來ず可愛想に思ひます又蚤に喰はるゝと皮膚が赤くなり張れ上がつて痒みを感ずるので誠に不快なものです斯かる時は直ちにリスリンを綿に付け喰はれたる處に塗布すれば痒みも取れ又害毒を防ぎますから婦人方殊に小供を持つた親などは之を心掛けて居られたいものです其れに此頃は何處の家庭でもリスリン位は皆お用ひの樣ですから

△蚤の發生を防ぐ藥　蚤の發生を防ぐにはどうすれば良いか此頃はのみとり粉など其他種々のものがありますが其等は一時蚤を痲醉させる丈けである故に無害で且つ簡便に蚤を殺す方法を見出さなければならぬ私の實見する處では何處の家庭でも日常あるもので洗濯などに用ひらる揮發油があるこれが極めて良い今は大掃除の時でもあるから、掃除後や又は蚤の出る處に散布すれば蚤は發生しません一番簡便で又經濟であります。

●產婦の注意

大學病院產科婦人科醫學士 清水由隆

▲今年はお產が重いと云ふ說が在るのですつて……ハリー彗星が現はれたから、とでも謂ふのでしやう。大丈夫ッ、受合ひます。去年のお產は輕い、本年のお產は重い、來年は並だなど、左樣な年に從つてお產が重いとか輕いとか定まるものでないのは、常識の判斷で充分ではありませんか。現に此の病室內では日々少くも二人や三人はお產を爲る婦人が在りますが、例年とちがつて重いなどいふことは少しも在りません。ハリー彗星が如何なお方かは知りませんが、自分が現はれて來る年に限つて、同情すべき產婦……婦人の義務を盡しつゝある產婦を殊更らいぢめる樣な事をなさらないのは、私が保證致します。西洋ではハリー彗星に恐れて祈禱など盛んにやつた所があるそうですが、我國ではそんな話もありませず、誠に西洋に對しても誇つてよい結構な事であると思ひます。

▲年增の婦人の初產は重い……と云ふのは事實です。學術上では滿三十歲以上でお產をする婦人を高年の初產婦と呼びます。年を老つてからの初產には、お產の道の準備が不充分である。卽ち懷姙すればお產の折に小供の通つて來る道筋が一體に鬆粗になり、小供の產れる時に、充分に延びて小供の通過を易くするものでありますが、高年の產婦ですと產道に此の準備が滿足に出來ませんから、小供が子宮を出づるに抵抗が多く、同時に產道に裂傷を受け易いのです。又一方から見れば、陣痛が始めは強いのですが、抵抗が大きい爲めお產に手間がとれ、產婦は次第に疲勞れ、後には陣痛も微弱に爲つて了つて、益々小供が產れにくいやうな危險が在るのです。ですから三十歲以上の初產婦ですと、醫師も產婆も特別の注意を要します。兎も角二十五歲位より以上で始めて懷姙になつた婦人は、可成早く醫師の診察を賴る位の注意は必要であります。

▲產前の注意の第一義……この質問は迷惑です。一寸極簡單に御答が出來る問題ではありません。が左右姙婦は精神上及肉體上に衞生を守るといふことが、お質問の第一義です。お產前の注意を詳細に述べれば、種々とあります。一般的に云ひますれば、姙娠中は僅かな不養生でも、諸種の病氣を起し易いものですから、平常よりも一層衞生に注意して、病を未發に防ぐ用心が肝要です。食物の事や、運動の事、大便の通利の事、衣服の事、其他お話すべき事は澤山ありますが長くなりますから略します。が、先づ無理な勞働をせぬやう、食事はまづ普通、精神は平穩に置くこと、便通をよくすることなどが、一番大切の要件です。

▲それから、醫師が度々困らせられるのは、姙娠中の婦人から、ヤレ汽船に乘つて國へ歸つて宜しいが、汽車に乘つて京都へ行つても大丈夫か、など〻尋ねられる事です。旅行は普通以上の勞働で、肉體上にも且又精神上にも平常以上の刺戟を與ふるものですから、容赦なく言へば姙婦の旅行は一切禁止すべしでありますが、止むを得ざる折に一時の危險を犯すのは、これこそ止むを得ざる次第ですから、其の人の事情什麼に依つては醫師も許可する事があります。要するに姙娠中の旅行は姙婦も困れば、醫師もこまる問題です。

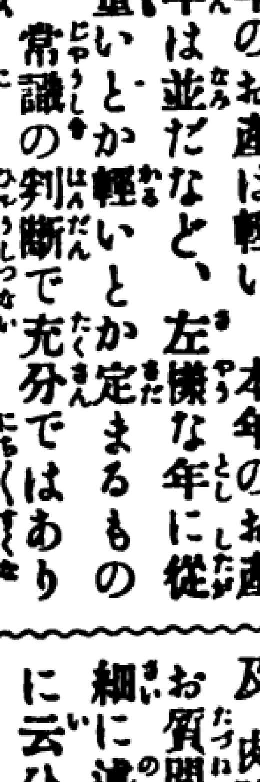
▲衞生顧問▼

▲產科婦人科　濱田病院醫學士　小畑惟清先生
▲小兒科　帝國大學病院小兒科醫學士　齋藤宗藏先生
▲齒科　米國カリホルニヤ齒科大學卒業ドクトル　大原篤太郎先生

▲御質問は端書でも封書でもかまひません、唯表に「愛國婦人發行所衞生顧問係御中」と御書き被下い、御答は到着順を以て成るべく速に此の紙上で發表致します、

專賣特許

のみよけねまき



●のみ、南京虫等の害虫を完全に防ぐ●體裁優美着心能く洋服下着に最も適當す●着脫自由にして旅行用に最も適す●大小便共自由に便じ得るを以て御婦人方にも宜し●冷等の患なし●幾度洗滌するも差閊なし

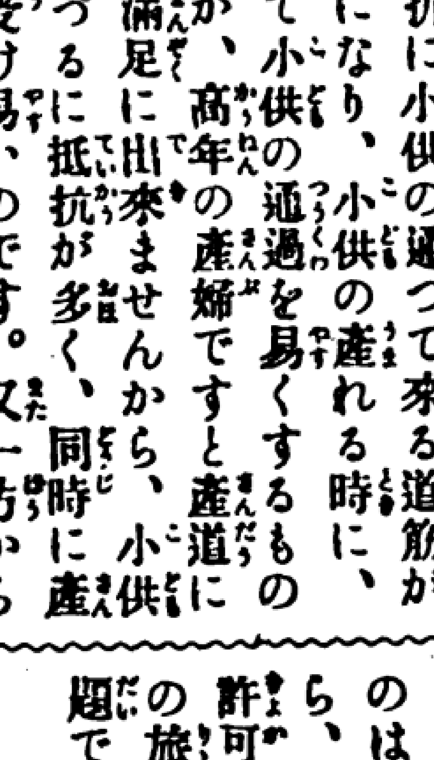
代價

		白キャラコ	白綿ネール
壹號着丈	二尺	金八十五錢	金壹圓卅錢
貳號着丈	二尺三寸	金壹圓十錢	金壹圓五十錢
參號着丈	二尺七寸	金壹圓卅錢	金壹圓九十錢
四號着丈	三尺參寸	金壹圓五十錢	金貳圓十錢
四號半着丈	三尺五寸	金壹圓七十錢	金貳圓卅錢
五號着丈	三尺八寸	金壹圓九十錢	金貳圓五十錢

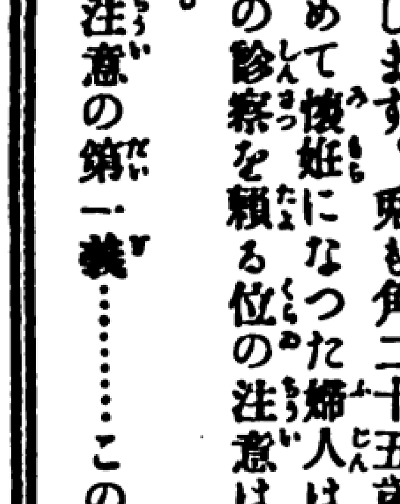
御注文の節は御一報次第代金引替小包にて御送申候

東京市京橋區元數寄屋町二丁目二番地
フタハ商會
電新二七二七、四三六九番

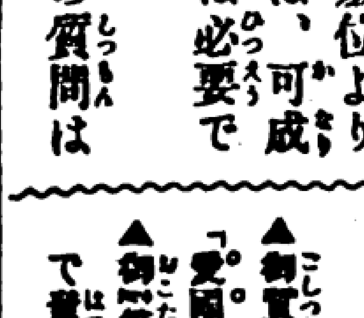
專賣特許名和式テンピ



嘗つて婦人世界誌上に於て弦齋夫人の料理談中其の効用を稱せられたる和用兼用テンピなり
大三圓中二圓五十錢小一圓九十錢
東京日本橋區蠣殼町二ノ十五
特許竈
據風呂
名和商店
電浪一一七七
振替口座一〇二五四
支店神田和泉橋通松永町十八



說明書
御希望の方へ進呈



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

附錄 愛國婦人會記事

本部記事

明治四十二年會員數不納會員及醵金成績優劣調書

愛國婦人會

支部名	年末會員數（人）	女子人口百分比（人）	同上列次	不納會員數（人）	同上總會員の百分比（人）	同上列次	醵金高（円）	平均一人醵金高（円）	同上列次	自三十七年至四十二年（平均一人醵金高）（円）	同上列次
臺灣	三三、四八九	二、五三	三二	八、六九一	二六、〇	八	五八、五六五、九七〇	一、七四八	一	一、七六一	一
北海道	一七、六五九	三、五八	一八	一二、九〇三	七三、一	四五	九、一四〇、五五〇	〇、五一七	四〇	〇、八〇一	二六
東京	二九、一七五	二、五二	三三	一五、一一〇	五一、八	二七	一七、一一三、八二五	〇、五八六	三〇	一、〇二八	四
京都	二〇、五〇九	三、九四	一二	五、八一〇	二八、三	九	一三、七六一、四〇〇	〇、六七〇	一八	〇、八六〇	一九
大阪	二〇、四〇四	二、三六	三六	九、六四七	四七、三	二三	一二、七五七、六八〇	〇、六二五	二五	〇、九七八	八
神奈川	一九、五〇〇	三、九〇	一四	九、一五七	四七、〇	二一	一四、二三九、五〇〇	〇、七三〇	一三	〇、八八五	一四
兵庫	三六、一六一	四、〇九	一〇	一一、七九四	三二、六	一二	二七、五七一、六五〇	〇、七六二	一一	〇、九四六	九
長崎	一五、七六八	三、二二	二三	一〇、五二〇	六六、七	四一	六、二三二、二〇〇	〇、三九五	四八	一、〇五三	二
新潟	一四、四八九	一、六一	四五	二、六七三	一八、四	三	一一、四八四、八五〇	〇、七九二	八	〇、八一〇	二四
埼玉	九、九一〇	一、五八	四六	六、五〇五	六五、六	三八	六、〇三九、三〇〇	〇、六〇七	二八	〇、八一二	二三
群馬	一四、九二四	三、二八	二二	七、四三六	四九、八	二六	九、一五五、六五〇	〇、六一三	二七	〇、六九八	四二
千葉	一三、六一八	二、〇九	三九	二、五九八	一九、一	四	一三、一三七、〇〇〇	〇、九六四	二	一、〇三五	三
茨城	一〇、八八九	一、八一	四一	六、五七〇	六〇、三	三三	六、一五七、六九〇	〇、五六五	三二	〇、七一八	三八
栃木	一三、三六二	二、九六	二七	九、一一四	六八、二	四二	六、八三一、四五〇	〇、五三四	三六	〇、六五五	四五
奈良	六、四四三	二、三一	三八	三、九五三	六一、四	三六	四、四二七、一〇〇	〇、六八七	一六	〇、六九三	四三
三重	一三、七九八	二、六四	三一	一、九五七	一四、二	二	一一、六〇八、四〇〇	〇、八四一	六	一、〇一四	五
愛知	三七、四一六	四、三三	七	一五、〇九一	四〇、三	一五	二三、八三六、六〇〇	〇、六三七	二四	〇、八七一	一六
靜岡	二〇、五三六	三、二〇	二四	六、六〇七	三二、二	一一	一五、一七八、一五〇	〇、七三九	一二	一、〇二二	六
山梨	四、六一七	一、六七	四四	三、一九七	六九、二	四三	二、〇四七、四〇〇	〇、四四二	四五	〇、六一一	四七
滋賀	六、五一三	一、七八	四三	三、九五四	六〇、七	三四	三、六三六、七〇〇	〇、五五八	三三	〇、七八〇	三一
岐阜	七、六六四	一、四七	四七	三、七六〇	四九、一	二四	六、二八九、二〇〇	〇、八二〇	七	〇、七四八	三三
長野	一六、三八二	三、六〇	一七	七、〇七八	四三、二	一七	一〇、七四〇、三五〇	〇、六五五	二〇	〇、九一八	一二
宮城	一三、七一九	三、〇八	二五	三、四二五	二五、〇	七	一二、〇五〇、〇二〇	〇、八七八	四	〇、八六六	一七
福島	一三、九一三	二、三九	三五	五、六四二	四〇、六	一六	八、一三二、三五五	〇、五八四	三一	〇、七五二	三二
岩手	九、二八三	二、五二	三四	六、八七二	七四、〇	四七	四、一三三、八〇〇	〇、四四五	四四	〇、六三三	四六
青森	一一、三六一	三、五三	一九	六、八五〇	六〇、三	三二	七、五二二、五二五	〇、六六二	一九	〇、八八二	一五
山形	二二、四四二	五、一〇	四	六、四九九	二九、〇	一〇	一六、三七〇、一一五	〇、七二九	一四	〇、七三二	三四
秋田	一四、一一一	三、四九	二〇	六、二八二	四四、五	一八	一一、一一〇、六五〇	〇、七八七	九	〇、九二五	一一
福井	九、一四九	二、七二	三〇	七、一八六	七八、五	四九	三、九八〇、〇六〇	〇、四三五	四六	〇、六〇三	四八
石川	二一、七八六	五、六五	二	七、四二一	三四、一	一三	一四、六五一、二一〇	〇、六七三	一七	〇、七九〇	三〇
富山	一五、七九三	四、一〇	九	九、二七〇	五八、七	三〇	九、八五六、八〇〇	〇、六二四	二六	〇、七二九	三五
鳥取	六、一五〇	二、八〇	二八	三、四七〇	五六、六	二八	二、五二二、二〇〇	〇、四一〇	四七	〇、五二三	四九
島根	一四、三五一	三、九六	一一	六、五九五	四六、〇	二〇	九、一七四、九〇〇	〇、六三九	二三	〇、八八七	一三
岡山	二四、四九四	四、二四	八	一七、三〇五	七〇、六	四四	一一、四五六、四〇〇	〇、四六七	四二	〇、七〇一	四一
廣島	三四、四二七	四、六一	五	二二、八三〇	六六、三	四〇	一七、九五三、六七五	〇、五二一	三九	〇、七九九	二七
山口	二九、五二七	五、八二	一	一〇、〇九八	三四、二	一四	二二、五六三、二七二	〇、七六四	一〇	〇、九二五	一〇
和歌山	四、七八八	一、四〇	四八	一、一三五	二三、七	六	二、九七六、八〇〇	〇、七〇九	一五	〇、八二〇	二二
德島	八、二五八	二、三四	三七	四、〇五七	四九、一	二三	四、三三二、八五〇	〇、五二三	三八	〇、七二三	三六
香川	一二、五九四	三、六二	一五	一、〇七七	八、六	一	一一、一四三、三二五	〇、八八四	三	一、〇〇九	七
愛媛	二〇、〇一七	三、九一	一三	九、八五四	四九、二	二五	一七、〇二九、七〇〇	〇、八五九	五	〇、七〇七	四〇
高知	五、八〇四	一、八二	四〇	三、八一七	六五、八	三九	三、〇七六、七〇〇	〇、五三〇	三七	〇、七九五	二八
福岡	三五、〇〇二	四、五三	六	七、六四八	二一、九	五	二二、四九五、七五〇	〇、六四二	二二	〇、八三四	二一
大分	一一、八三五	二、七五	二九	九、〇二九	七六、三	四八	六、〇三七、三〇〇	〇、五一〇	四一	〇、七一七	三九
佐賀	九、九一五	三、〇二	二六	五、八九二	五九、四	三一	五、四四一、六五〇	〇、五四九	三五	〇、七二二	三七
熊本	二二、一六七	三、六〇	一六	一三、五二九	六一、〇	三五	一三、〇〇九、八五〇	〇、五八七	二九	〇、六七六	四四
宮崎	九、二六六	三、三四	二一	四、一八七	四五、二	一九	五、一二五、八二五	〇、五五三	三四	〇、八四一	二〇
鹿兒島	一〇、六四〇	一、七九	四二	六、一四四	五七、七	二九	四、一六五、五九〇	〇、三九一	四九	〇、八〇八	二五
沖繩	二、一五八	〇、九〇	四九	一、五八八	七三、六	四六	一、三九八、四〇〇	〇、六四七	二一	〇、八六二	一八
函館	二、三六〇	五、二八	三	一、四五一	六一、五	三七	一、〇五九、一五〇	〇、四四九	四三	〇、七九二	二九
計	七七八、五三六	三、一二		三五三、二七八	四八、九		五三八、七一四、四八七	〇、六九三		〇、八三一	

備考　女子人口步合及不納會員の步合同しきものは會員の多き支部上位とし醵金一人平均の同しきものは醵金の多き支部を上位とす又臺灣函館支部は比較優劣の外とす

◎**評議員會**　五月廿五日本部樓上に於て評議員會を開催せられ、左記十四名出席參事會員改選投票の件に付き協議せられたり。但し當日當選の氏名は次號に掲載す。

岡部會長、三輪田理事、濱尾理事、棚橋、關、仁杉、山脇、松村、渡邊、丹羽、押川、柳谷、龜井、佐方の各評議員。

◎**有功章及謝狀贈與**

公爵　岩倉具張氏

本會々資中に金三百圓を寄贈せられたるに依り一等有功章を贈呈せられたり。（五月二十六日）

一等有功章　福岡支部幹事部顧問　佐藤平太郎
同　同幹事部長　佐藤花子
同　同　顧問　川島澄之助
同　同　部長　川島カヨ子
同　同　顧問　高瀬重太郎
同　同　部長　高瀬キヨ子
同　同　顧問　新納久
同　同　東喜之助
同　同　部長　東キセ子
同　同　顧問　田中駿介
同　同　戸田健兒
同　同　部長　戸田フデ子
同　同　顧問　松崎次郎
同　同　吉田惟清
同　同　部長　吉田ノウ子
同　同　顧問　廣辻信次郎
同　同　部長　廣辻ヒソ子
同　同　顧問　堀善之丞
同　同　部長　堀廣留子
二等有功章　同　津村常子
同　同　石塚サヲ子
同　同　顧問　谷保篤
同　同　部長　谷千代子
同　同　顧問　左正武
同　同　部長　左シゲ子
同　同　顧問　佐藤壽一郎
同　同　部長　佐藤駐
同　同　顧問　堀猶介
同　同　部長　堀フサ子
同　同　顧問　末弘直方
同　同　部長　末弘糸子
同　同　顧問　津村直次
同　同　石塚昇
同　同　池田穣
同　同　部長　池田ヒサ子
三等有功章　同　顧問　山口貢介
同　同　部長　山口アイ子
同　同　顧問　津田如實
同　同　部長　津田ナカ子
同　同　顧問　池田芳一
同　同　部長　池田テイ子
同　同　幹事　佐藤貞子
同　三潴郡部幹事部事務員　伊藤八郎

同　同　幹事　尼田ハル子
同　同　波多野ツマ子
同　同　押元キク子
同　同　中津井夫佐子
同　同　江崎サダ子
右功績に依り頭書の通贈與

福岡支部幹事　荻原トヨ子
同　三尾ヤヱ子
右功勞に依り特別謝狀に扇子一本贈與

同　幹事　柴田クラ子
同　下川メツ子
同　菊地メマヨ子
右功勞に依り第一種謝狀贈與（以上四月十八日）

神奈川支部幹事部長　河瀬濱子
同　顧問　河瀬常次郎
右功績に依り三等有功章贈與（四月十三日）

栃木支部　安井吉野子
右功績に依り一等有功章贈與（四月十五日）

佐賀支部副長　仁保しま子
右功勞に依り特別謝狀、扇本一本、婦女鑑一冊贈與
（四月二十二日）

二等有功章　栃木支部上都賀郡幹事部長　長井キヨ子
同　同足利郡同　中森繁子
三等有功章　同　同　幹事　足利敏子
同　同　世取山房子
同　同　岡島琴子
同　同　峰岸園子
同　同上都賀郡同　廣田ヤス子
右功績に依り頭書の通り贈與（四月二十二日）

三等有功章　青森支部　松木千代子
同　同　藤田千代子
同　同　宮川たか子
右各金五十圓寄附に依り頭書の通贈與

二等有功章　新潟支部新潟市幹事部長　吉田キン子
三等有功章　同　顧問　吉田眞治郎
同　同中蒲原郡幹事部長　四戸チセ子
同　同　顧問　四戸梅太郎
同　同佐渡郡幹事部長　深井トキ子
同　同　顧問　深井康邦
同　同四蒲原郡幹事部顧問　小山龍作
二等有功章　同南蒲原郡幹事部長　田宮ヒデ子
同　同古志郡幹事部長　齋藤道子
三等有功章　同刈羽郡幹事部幹事　大島猛之丞
同　同　澤田要人
右功績に依り頭書の通贈與

新潟支部中魚沼郡幹事部幹事　林藤野子
同　桑源泰子
同　増田メニ子
同　田中トヤ子
右功勞に依り特別謝狀竝に扇子一本贈與

特別謝狀、　新潟支部岩船郡幹事部幹事　島居セイ子
第一種謝狀　同　神戸マサ子
特別謝狀木杯一個　中魚沼郡幹事部事務員　西野熊藏
同　同　井部鑑之助
右功勞に依り頭書の通り贈與（以上四月廿三日）

神奈川支部小田原幹事　辻村歌子
同　吉田里子
同　加藤光子
同　中田末子
右功績に依り各二等有功章贈與（四月廿日）

奈良支部支部長　青木たま子
右功績に依り一等有功章贈與（四月廿八日）

北海道支部

▲明治四十二年度事務成績

◎**會務一般狀況**　會務の發展擴張に就ては曩に本會長通知の趣旨に遵ひ全道各役員を督勵し熱心に努力したるも前年來財界の不況と農産物の不作水産の不漁等種々なる原因は延いて本會の事業に影響を來たし豫期の如く成績を擧ぐるを得ず僅に新入會員六百十名を得たるも退會者居所不明者等六百八十二名を算するに至りたるは甚だ遺憾なりとす。

蓋し當支部管内は面積六千百三十五方里なるも女子の人口は六十五萬六百五人（四十年末日現在）に過ぎずして而も交通便ならず且つ本道住民は府縣住民と其狀態を異にし一意開拓を事とし家基を固むるに急にして又他を顧るの遑なき狀情なるを以て會員增募滯納會費の整理等甚だ困難なりとす。

◎**現在會員及其異動**　本年度末に於ける現在會員は特別終身會員三百四十一名特別年賦會員二千六百二十九名（内九十名居所不明）通常終身會員五百二十八名通常年賦會員一萬四千百六十一名（内五百三十二名居所不明）合計一萬七千六百五十九名にして本年度中會員の異動數は新入會員六百十名管外より轉入二百二十名死亡七十一名退會二百四十七名居所不明四百三十五名管外轉出百六十四名部内異動二百五十八名なりとす。

◎**有功章及謝狀贈與**　本年度中有功章授與せられたるもの五名一種謝狀三十五名二種謝狀二十八名にして有功章を授與せられたる氏名左の如し

三等有功章　特別會員　鈴木梅子
同　同　羽部トヨ子
同　同　富樫田鶴子
同　委員　鹿島直人
同　同　渡邊辰治

◎**會費**　明治三十四年より四十一年に至る間に滯納會費金二萬七千六十六圓三十

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

錢明治四十三年度分會費一萬四千七百二十圓五十錢計金四萬千七百八十六圓八十錢の内本年度收集高金九千百四十圓五十五錢なりとす。

◉支部經費　前年度越高千三百十圓七十五錢四厘本年度受入高四千五百二十七圓三十四錢五厘本年度支出高四千六百七十四圓十四錢一厘殘高千百六十三圓九十五錢八厘なり。

◉救護金　前年度越高六千四百六十二圓七錢五厘本年度受入高二千六百八十三圓十一錢本年度支出高千七百十圓五十九錢殘高七千四百三十四圓五十九錢五厘。

◉基本金　前年度越高四千二百九十圓五十一錢五厘本年度受入高九百十四圓八十錢五厘翌年度越高五千二百五圓三十二錢

◉委員部總會　本年度中委員部總會を開催したるもの四ケ所、空知幹事部内岩見澤、壽都幹事部内黑松内、根室幹事部内齒舞、岩内幹事部内島野の各委員部にして是等總會に於て二百有餘名の新入會員を得たり。

◉會合　本年七月各幹事部顧問の會同を求め會員增募滯納會費整理及會費收集方法等に付支部顧問より指示せられたる事項に對し協議を遂げたるに結局年末を期し滯納會費を整理し尚會員を增募することに決定したるを以て各幹事部役員は該協議事項に基き整理に着手したるも未だ其效果を見るを得ざるは遺憾なりとす。

本年十月支部直轄に係る札幌區幹事以上の役員會同し會費收集方法、會員募集會員居所不明者取調方を協議したるに各役員協同一致して活動する事に決せり

◉役員及職員の異動　相談役以下職員の異動數は相談役一、幹事部參與三、顧問二十一、幹事八十六、委員四十、事務員六にして合計百七十八名の解囑又は囑託ありたり。

◉役員其他の出張　第八回本部總會の折支部長事務員參列し又前記委員部總會には支部副長評議員事務員臨席せり尚十二月中空知幹事部内會費收集補助として事務員一名出張せり。

◉祭粢　八月當地招魂祭に際し神饌を供し幹事以上の役員參拜し式後參列の遺族廢兵に對し懇切斡旋せり

札幌區特別會員菊地モン子小池ソメ子死亡に付き弔詞を呈し且評議員事務員をして會葬せしむ。

◉軍隊送迎其他　十一月東北地方に於ける秋季特別大演習に參加せし第七師團及樺太守備隊交替部隊當地通過に際し幹事以上の役員札幌停車場にて歡送迎をなす。

八月韓國皇太子殿下當地方巡啓に際し同じく會員一般歡送迎をなしたり。

◉岩見澤婦人會　當支部内空知郡幹事部岩見澤委員部に於ては會員相互の智德を涵養し併て會務の擴張滯納整理を期せん爲め岩見澤婦人會を組織し毎月一回常集會を開催することに決定したり。

◉軍隊見送　五月二十二日步兵第六十一聯隊第二中隊韓國へ派遣に付會員は之が見送をなしたり。

和歌山支部

▲明治四十二年度事務成績

◉年度末會員數　特別三百四十一人通常四千四百四十七人計四千七百八十八人にして内本年中の新募會員通常百三十九人特別九人計百四十八人なり。

◉會費納付の情況　年醵金醵集總額金二千九百七十六圓八十錢此一人平均率金七十錢九厘一時納金者特別三人金三十七圓通常十七人金八十六圓八十錢計百二十三圓八十錢。

◉定期救護金　支出額金千百十七圓、此救護人員丙一人四圓宛二百十一人、丁一人七圓宛三十九人分。

◉收支　支部經費收入總額千六百七十三圓四十一錢七厘支出總額八百八十三圓六十九錢三厘現在金七百八十九圓七十二錢四厘。

◉職員會　一月八日日本赤十字社和歌山支部樓上に於て篤志看護婦人會と合同新年互禮會を開催せり。

大分支部

●慰問袋寄贈　韓國駐劄軍第六師團第十八師團等四月中旬より交替歸還の豫定に付右將卒に對し當支部職員會員より慰問袋寄贈の募集をなしたるに總數九百五十八個（一個價格二十五錢乃至三十錢位）集纏せしを以て三月十九日熊本支部を經て彼地へ發送せり。

佐賀支部

◉第三回講話會の狀況　去る四月二十九日當支部第三回講話會を武德會場に於て開く。講師には木山定生氏及び韓國守備隊に編入され最近渡韓駐劄地より歸隊したる當步兵第五十五聯隊第九中隊長高柳大尉代理として同隊附中尉三谷市松氏を聘して講話を託せり。出席會員六十餘名午後三時開會、先づ山村主事取扱會務の狀況と將來の希望とを述べ、次に三谷中尉は韓國の風俗人情等より守備任務の困難に說き及ばれ、最後に木山氏愛國婦人會員の責任及心得に就て熱心平易の講話せらる、畢りて筑前琵琶、琴尺八合奏等の餘興に移り茶菓を饗し、午後六時過散會せり。

鹿兒島支部

▲明治四十二年度事務成績

◉會員　本年度中新入會員は特別二十八名通常五百四十名合計五百六十八名にして退會者は特別會員二十二名通常會員百二十二名差引四百二十四名を增加したり

◉會費　本年中の醵集金額四千百六十五圓五十九錢にして之を細別すれば特別會員千八十五名より九百九十三圓七十四錢通常會員九千百八十一名より三千百七十一圓八十五錢なりとす。

◉基本金　本年中の收入金四百十六圓五十六錢之れに前年度よりの越高千三百三十五圓七十六錢五厘を加へ現在高千七百五十二圓三十二錢五厘なり。

◉救護金　本年中の收入金七百十九圓五十二錢及本部より受入れの定期救護金六百五十九圓前年度よりの越高千二十圓十七錢合計二千三百九十八圓六十九錢内本年度支出高千二百十三圓十錢を控除し差引現在高千百八十五圓五十九錢。

◉經費　本年度支拂高千六百六十九圓六十錢二厘内百十三圓六十錢は會員募集費なり。

◉寄附金　支部評議員吉岡延子氏より金十圓同荻原英子氏より金十五圓支部經費中に寄附あり。

◉軍人遺族救護　本年度定期救護金は丁九十三名丙百七十二名に對し千七十四圓を交附し丙にして生活狀態困難なりと認むるもの八名に對し金三圓宛を增額したり右の内同年中更に救護したるもの丁六十名丙三十八名より。

◉遺族接待　四月二十八日當市埋立地に於て日淸北淸日露戰病死者招魂祭執行に付支部長其他役員は遺族八百餘名の參拜者に對し茶菓の接待をなしたり。

◉寄贈品　三月二十日當地步兵第四十五聯隊より渡韓の軍隊將校以下八百四十餘名及十二月同八百九十餘名に對し手拭一筋菓子一包宛篤志看護婦人會鹿兒島婦人會と合同寄贈したり。

◉慰問袋　本年九月本縣出身軍人にして目下駐韓中の將校以下三千四百八十名に對し慰問袋を寄贈したり。

◉有功章贈與　本年度中に贈與せられたるは左の五名なり。

一等有功章	支部長	阪本急子
二等有功章	副長	坂元梅野子
三等有功章	幹事	關ウキノ子
同	幹事	松山シノ子
同	相談役	町田實一氏

但し現在佩用者四十名なり

◉役員囑託及解託　支部評議員に伊知地靑子氏外三名囑託同解囑三名又幹事部長及顧問に數名更迭の外揖宿郡幹事部長に丸茂マツヨ子同顧問に丸茂藤平氏薩摩郡幹事部長に郡山辰尾子同顧問に郡山軍助氏佐伊郡幹事部長に小田野クミ子同顧問に小野田祐介氏出水郡顧問に肝付勇吉氏を囑託ありたり。

◉職員出張　三月幼兒教養生森田榮外一名教養所へ入所せしむる爲め主事引率上京中第八回總會に參列したり。

秋田支部

四月三日縣公會堂に於て開催せる同役員會は出席人員百二十五名にして森支部長開會の辭及び森顧問の會務上に關する懇篤なる諭告ありて左記事項を協議し次に伊東高等女學校長の道德に關する講話及原野士の衞生上に關する有益なる講話等ありて後午餐を供せり又顧問より遺族廢兵の生活困難者を訪問慰藉して慰問品を贈與する樣注意ありしが滿場之を贊成し即日長谷川評議員は花立町より肴町馬喰町方面伊藤協議員は猶山方面德木協議員は保戶野及手形方面を受持ち各遺族廢兵各戶に就き懇篤慰藉して折詰及菓子を贈與せしが何れも其厚意に感動し感涙に咽びあへり。

（協議事項略す）

神奈川支部職員名簿

職名	氏名
支部長	周布良子
支部副長	三橋のぶ子
副顧問	堀信次
評議員	上村貞子
主事	日比知周
事務員	内藤義一
同	大槇平美
同	久保文次郎
同	長岡喜一
同	深川淑德

職名	氏名
顧問	周布公平
同	堀ミツ子
評議員	小川松子
同	藤井とく子
會計監督	曾根田重保
同	谷口包泰
同	山崎満吉
同	古川愛親
同	渡邊吉龍
同	長洲市之允

▲横濱市幹事部

職名	氏名
幹事部長	渡邊玉子
幹事	増田都子
同	朝田久乃子
同	田沼成子
同	尾崎モト子
同	中山愛子
同	鈴木鎮子
同	茂木榮子

職名	氏名
顧問	三橋信方
同	木村泰子
同	石川寶久子
同	淺岡珠子
同	田中よね子
同	堀田順子
同	有泉幸子
同	山田いと子

（以下次號）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

應募和歌

佐々木信綱先生選評

天 福島縣柳津村 笈田よしの子

築地までさとひとはしりするほとに千代子はなるな蚊遣火のもと

（評）平評をさながら入れたる手腕凡ならず

地 岡山縣 黒江 幸子

ものうけに病む子の顔をまもりつゝ母はしつかに蚊遣たくなり

（評）病める子の母の胸の内おもひやられて

人 ふ さ 子

夏祭り子等に着せむと母人は針の手せはし蚊やり火のもと

（評）母人の句はまたしけれど着想清新なり

秀逸

○ 岩代 西山 佐保子

五月雨に訪ふ人もなき此頃は蚊やりそよるのすさひなりける

○ 山口 末川 貞節子

いふせきをよそにふすふる蚊遣火の煙もしろき夕顔のやと

○ 岩代 長谷川よしの子

夜毎〳〵蚊遣火焚きて語りけむ山の湯の夏忘れてあらめや

○ 長崎 德永 いく子

つく〳〵と來し方おもう時しまれふと心なき蚊やり火もえぬ

○ 石巻 森田 とき子

蚊やり火にむせひなからも語らはむ君歸ります汽車のたつまて

○ 赤阪 清水 まつ子

靑すたれかけたる軒の蚊遣火の煙のうちに琴の音そする

○ 靜岡縣 山下 いか子

夜ふけても苫屋に蚊遣たく妹は網引のせこの歸りまつらむ

佳作

○ 福岡縣 廣瀬 たけ子

蚊遣火の烟や雲となりぬらん凉しく霞む夏の夜の月

○ 岐阜縣 坪井てい子

夕顔の花さく軒にかやり火の烟なかるゝ川つらの里

○ 京都 田中くゑ子

月を友に笛とりいてゝすさむまに軒端のかやりたちはてにけり

○ 三重 莊司 積子

見渡せは里にたなひく黑けむり夕飯するまの蚊やりなるらむ

○ 芝區 土師利根子

軒近くとなりの蚊遣立ちのほりたかぬ我家もいふせかりけり

○ 神奈川 足立原とく子

山里のいほりに夏や來ぬるらむけふりたちそう夜中の蚊遣火

○ 岡山縣 西村 長子

こゝかしこ蚊遣火たきて夕されはけむりにくもる山しとの里

○ 岐阜縣 野村なか子

おちこちの軒端にほそき蚊遣火はいつれの庭の人のたくらむ

○ 備後 世羅 龜子

あはれそといふも煙や釣舟に焚か蚊遣のけむるけしきは

○ 青森縣 大嶋八佐子

夏の夜の月も軒端に見えぬまで蚊遣にくもる山のへの里

○ 橫濱 鈴木まつ子

吹く風にともしは消えて蚊遣火のけふりいふせき山かけの庵

○ 同 同

濱松に月はいてけり今はとて蚊遣たくらむ烟たつ見ゆ

○ 京都 田中八重代子

蚊遣たくしはしはしのべ更くる夜の曇らぬ軒に月をこそ見め

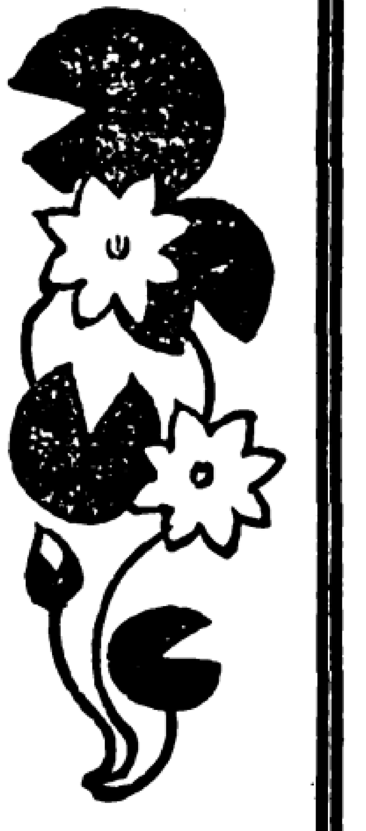
○ 麴町區 田村かれ子

夕立のしふきに濡れしかやり火のもえぬなかこつ我涙かな

○ 山口 末田たけ子

月影のくもると見しは隣りよりなひく蚊やりのけふりなりしか

若葉會詠草



○ 藤の花

○花散りてひさご空しき春のくれせめて朧の月を惜まむ

○散る花のうらみをのせて草かたれゆくことおそき春の水かな

○ふりあしのなまめき見えて蛇の目傘柳にきえし春雨のまち

○春雨の爪彈やみてものひさくこゑあはれなりたそかれの町

○姫松の葉末のつゆのきらめきて音なき春の雨をしるかな

○今はとて出てます君を止めあへは塗る袂にかゝる春雨

○散る花のゆくへながめてかた笑くはさひしく消えしおはしまの人

○折柳の曲は知られど朧月花に有情の笛の音かな

○たく香のけむり身にしむ笑津城はそゝろに土のなつかしきかな

○おほろ〳〵かすむ出湯の宿の宵うつゝともなく散る櫻かな

○たちめくる香のかほりも身にしみて爐はたしつけき松風のおと

○芍藥の花に風の一しきり白き胡蝶ののきは破れぬ

○逝く春に散るをあらそう花を惜みしはしたゆたふ貧皆の野邊

○のり合ひのお國なまりもなつかしき故郷近くなれる歸り路

○母逝きて今は形見の冬衣しつけのまゝに七年を經ぬ

○たとりつゝ昔の名文讀みゆけは骨に通ふ松風のこゑ

◎ わかば

○波とのに人なき夕へ月かけの水にゆらきて白藤の散る

○白藤に細き雨ふる夕まぐれ釣とのおほろ灯かけゆらくも

○うす赤きうつきの花に梅雨のそゝく夕を蛙なくなり

○里の子かつくりて流す笹舟ののせゆく春を蝶こひてゆく

○ふむ草もあふく柳もみとりして露もしたゝる朝の山みち

○やすらひし舊はさりて燈台にあせし櫻の花そ散りける

○行く春を落花にしのふ夕まくれやつれし頰に露のつめたき

○うちわたす水田の蛙なく聲しゆめ見るごとしかすむ夕へは

○なとてかくわれに近よるうき君に血まへ肉まへあたへよといふ

○もゆること願ひは消えて冷笑のひゝきに生くる女となりぬ

◎ 玉だれ のぶ

○高殿の御簾まき上けて小琴ひく少女を照らす夜中の月影

○矢きけひの音を夢と見る春のとりてまもろはおほろ夜の月

○玉くしけ箱根の山のあけくれを小簾おろしたる玉たれの瀧

○我か庵にあはれはおのれの物にこそ竹に吹く風松わたる月

○あかつきに限らばかきれ郭公まつに苦しき夜を寐れまし

○一聲は西か東か郭公矢ないろことし富士の川舟

▼愛國文苑▲

◎和歌 坂正臣先生選
新樹露（六月五日締切） 水邊夏草（六月廿日締切）

◎和歌 佐々木信綱先生選
雨後納凉（七月七日締切） 夕立（七月廿日締切）

◎俳句 内藤鳴雪先生選
かやりび（六月五日締切） 夏野（六月廿日締切）

▲和歌の選は新派歌壇の明星佐々木先生の外に舊派の泰斗宮内省御歌所主事坂正臣先生に依賴し隔月に選評して頂く事と致しました、宜く前記題詠に御注意あつて締切に遲れないやう御投稿被下い、

家庭笑話

◎六歳になる弟の孝ちやんが、頭に落書をしますので「そんな落書を先生が敎へましたか」と言ひましたら、孝ちやんが、「先生に習はなくてもこんなこと出來るよ」と申しました。又同じ孝ちやんが無暗と駄々をこねますので、「何故そんなに駄々をいふの」と言ひますと、孝ちやんは、「お菓子が欲しいから」と申しましたので、皆が大笑ひいたしました。（埼玉 つる子）

◎お母様が靜ちやんに「お星樣は澤山あるけれど、お月樣はたつた一つです」と言ひ聞かせになりますと、靜ちやんは怪訝な顏して「でも先頃、お姉樣の處へ行つたらあそこにも一つあつたよ」と申しました（宇都宮 すゝき）

◎或人が、貞坊に向つて、「貞さんは日曜が一番好きでしやう」と申しますと、貞さんは不平らしい顏をして、「でも日曜なんか喰べられないぢやないか」と言つたので、大笑ひでした。（神戸 すま子）

◎母「そんなに泣くんぢやありませんよ」
子「でも人形がなくなつてしまつたんですもの」
母「泣いたつて出やしません」
子「泣かなければ出るの……」（水戸 ふみ子）

愛國婦人ブラック（投稿隨意）

▲青葉を渡る薫風のいとも心地よき今日此頃、記者樣初め皆々樣には御變りもございませんか。『我が愛國婦人』の月を追うて發展いたしますのは何より嬉しいことでございます。（岐阜 光江子）

▲野村なか子樣へ、御投書の九州御視察の記慥かに頂きました。いづれ折を見まして掲載致します（記者より）▲私は青森縣下の片山里に住居致すものでありますが、小說を投書いたしたいと思ひます。御掲載被下いますか。（山縫女）●必らず掲載いたすとは拜見の上でなくては申し兼れますが、何卒ドシ〳〵御投書を願ひます（係り）▲先日はあつかましく衛生欄に御相談のお尋ねを致しましたらば、早速小畑先生のお手元から御答辯被下いまして難有う御座います。御勸告に從ひすぐさま別の醫師の診察を受けましたらば、先生の御診斷と少しも違ひませんでした。記者樣から厚く御禮申上げて被下いませ。●早速傳えて置きました（係り）

明治庚戌日誌

▽五月八日（日）晴 愛國婦人會總裁宮妃殿下より特別徽章及有功章御親授◎東京婦人協會、地學協會總會
▽同 九日（月）晴 英國新帝ジョージ第五世陛下宣示式◎迪宮淳宮兩皇孫殿下ケ原御遠足◎農業講習所及同農事試驗所御成◎愛國婦人會第九回總會
▽同 十日（火）晴 全國小學校會議終了◎東亞同文館總會
▽同十一日（水）風雨 泰宮内親王殿下第十五回御誕辰◎故英皇大葬擧行に就き伏見宮殿下を御名代として御參列の旨御沙汰あり
▽同十二日（木）晴 兩殿下より青森大火御救恤金下賜◎白國特使退京◎大隈伯高野山登山
▽同十三日（金）雨 東宮殿下參謀本部御成◎閑院宮殿下逗子へ東伏見宮同妃殿下葉山へ成らせらる◎東京市養育院々見大會
▽同十四日（土）晴 印度バロダ王入京◎日英博覽會開場◎東洋拓植第二回總會◎第二回觀花會
▽同十五日（日）晴 三皇孫殿下高輪宮御成◎東伏見宮同妃兩殿下御歸京◎區内高齡者祝賀會（本鄕區婦人會主催）
▽同十六日（月）雨 久邇宮妃殿下王男子御安産◎獨國觀光團入京◎軍艦生駒アルゼンチン到着
▽同十七日（火）晴 東宮殿下參謀本部御出勤◎羅馬字ひろめ會
▽同十八日（水）晴 東宮殿下上野公園内美術工藝展覽會及池の端貿易品博覽會御成◎梨本宮妃殿下名古屋御成◎韓國首相傷害事件判決あり李在明死刑の宣告を受く
▽同十九日（木）晴 去る十一日紀州須佐見灣にて沈沒せる和歌山丸救災に對し同陛下より金貳百五拾圓及青森大火に盡力せる同地步兵第五聯隊に對し同じく金貳百五拾圓御下賜あり◎閑院宮殿下甲府御出發◎ハリー彗星太陽面通過◎女子敎育家懇談會
▽同二十日（金）晴 故英皇エドワード七世葬儀◎皇太子同妃兩殿下陛下の代理として築地三一教會に於ける故英皇遙拜式御參列◎歌舞音曲停止
▽同二十一日（土）雨 宮中顧問官三浦安氏其他八十歲以上の高齡者に對し御盃一組御酒肴料一封御下賜あり◎東伏見宮殿下逗子に御成◎築地本願寺英先帝追悼會◎大相撲新番附發表
▽同二十二日（日）晴 久邇宮殿下第三王子邦英と命名せらる◎閑院宮殿下甲府より御歸京◎一德會講話會◎遞友大會
▽同二十三日（月）晴 バロダ王同妃及王女參内◎陸軍大學校卒業式
▽同二十四日（火）晴 竹田宮殿下御殿落成したり◎陸軍經理學校卒業式◎はつ會

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

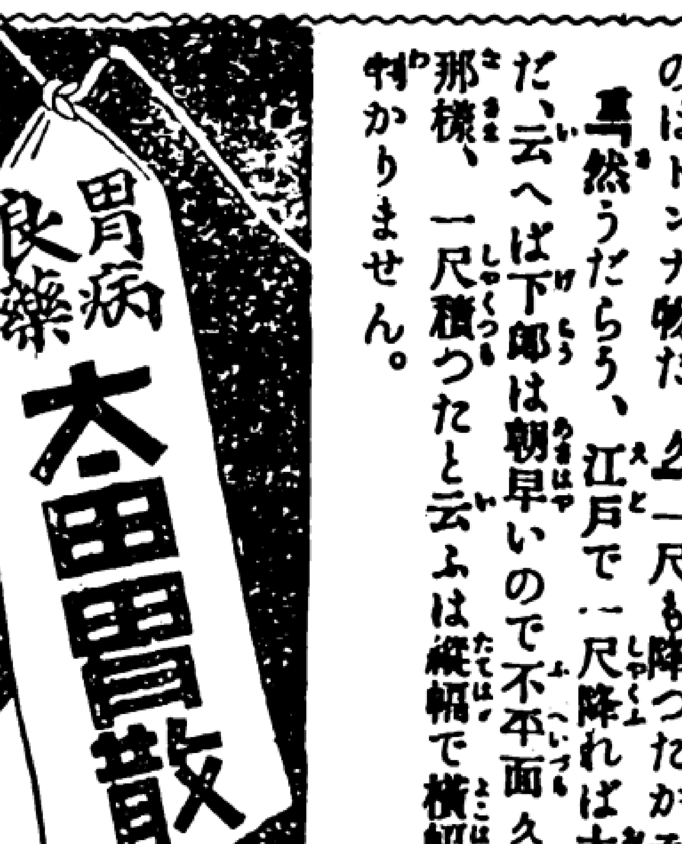
講談

赤穗義士の内 勝田新左衛門

大島光利口演

第二席の四

久「魂消たナ、夫じやア歸りませうが妙な事があるものだ 重「久助、何うじや今日は日が暮ないで明日になる工風はないか 久「へエ、今夜日が暮ねへで明日になる事は出來ましねへ、何うも些と氣が怪訝ぞ是は、つぶやきながら供をして歸る、日暮ならでは戻らじと我が兒を抱て炬燵の中、太閤記の草双紙を出して秀吉公にあやかれよと我が兒に仕込、家庭教育、武士の心得を言葉優しく話て聞かして居る折柄、玄關の方に御歸りと云ふ早くも聞つけた新太郎 新「阿母樣御祖父樣の御歸りじや、夫幾代餅の御土產じやと云はれて母も吃驚して共に玄關へ立出ました平來は心の優しきに似氣なく顏をしかめて苦虫を潰したやうな重兵衛今日は御中まるで笑ひを含んで居る 重「オー坊や御待兼であつたか、娘も早く戾つて來たので嘸驚いたらう、今日は茶の湯は廢にして歸つた 花「左樣で御座いますか、道理こそ餘り御早いので何か間違ひでも爲すつたかと御氣遣ひ申しました 重「何間違ひ處か狂人になる位ゐ嬉しい事があるのじや、坊や何故袂を探るのじやウン御土產の御催促か、さう〳〵兩國の幾代餅を約束したが到頭忘れてしまつた其代り注文した御土產が明日の朝屆く筈だ、ノウ娘や、孫ばかりの喜びではないぞ其方の爲に花待得たる丈の手土產は明日の朝屆ぞと云ば花女は手を拱て 花「妾へも御土產とは眞に有難い事ですが、本所で何を御求め遊ばしました 重「何であるか當て見ろ、普通の土產と違つて勝武士じや 花「オヤ〳〵本所へ御出遊ばしたのに瀨戶物町のイヘでも御廻りあそばしましたか、重「何、イ……ウン夫は鰹節じや、勝武士とは活物の事だ、活て居る土產が明日屆く 花「マア活て居る御土產夫は目白か山雀か四十雀か何か小鳥でも御求め遊ばしましたか 重「小鳥どころか大鳥じや、背の高さが五尺四寸 花「大層な御土產、と云へど娘は合點のゆかぬ顏色重兵衛は傘を下郎に渡して上に上り、孫の手を引て座敷へ通り衣類を被替ながら 重「娘、唐突に話たら嘸驚であらうが、決して騷いではならぬぞ、平常戀しい懷しいと噂の出ない日とてもない、婿の勝田に面會したのだ、云へば果して女の事ハッとばかりに途胸を突、先立ものは兩眼に淚 花「マア、ド、何所で御遇遊ばした 重「ツレ〳〵其樣に泣て騷ぐから泣ないやうに斷はつて置たのじや、何だ坊やお前も眞似をして泣居ナ 新「坊は泣のじやアないけれども御祖父さんも阿母ちやんも泣から、云へば重兵衛は淚を拭て 重「是は泣じや、泣のじやない老人は水涕が目に廻つて來たのだ、娘や精忠無二の侍の仕事は仕上た上でなければ判からぬ大根々々と天秤を肩に擔いで賣歩行婿の勝田は忠義の鑑、場所は何おふ吉良の邸の門前じや、明日は必ず來ると云ふから是は些面白なつて來たぞ、日頃の憂晴しの稱じや、然し久しぶりでお前も新左衛門に逢のじやから、髮も久しく結ぬが今日は髮を能結ふて孫にも奴を刈込でやれヨ、明日新左衛門が來たら袴を穿せ木刀でもさゝして面會させヨ、何袴は長櫃の下底になつて居る、夫なら其方の立縞の前掛を袴にして穿ても宜い夫で一日は間に合ふ、久助々々と大聲に呼と、襖の間から首を出して 久「ハイ 重「今夜は早眠だぞ、云へば下郎は打笑ひ 久「早眠とは有難ふ御座います、昨夜も長谷川樣の旦那が來て俺を打たつしやるから每日も夜が更て、俺は寢て居ても御門を閉なければならねへで、釜屋もぐさを五ッばかり下駄にすゑてやつたら漸く歸らつした今夜は早眠と聞て有難い 重「其代り明日の朝は早く起ろ 久「是は驚いた、早眠と聞て有難いと思つたら明日の朝早く起ろ何日だッて六ッ半に起るのだがアレヨリ早く起るとは魂消た、差引勘定何にもならねへ、默つて部屋へ行け 久「ハイ、澁々下郎は立て行、直に床を延させ孫を間に横にはなつたが、重兵衛胸中に思ふは婿勝田の今日の容子、世間の噂にも薄々聞、赤穗の浪士が吉良家を狙ふと云ふ風聞ありしが現在の婿の勝田の行衛も知れぬ今日まで央疑ひ居たるに今日の容子で思ひ當つた、孫がおとなしく成長したを見せるも親父の一の自慢と繰り枕に孫を着、寢ては見たもの丶眠むられず、思は同じ幼子が明日の朝は父が來ると聞たる嬉さ眠入もやらず、不斷に孫まで寢返をして御祖父さんへ惡戯をして居る 重「コレ〳〵何故鼻の穴に指なぞを突込のだ御祖父さんの鼻が痛い、剃刀のやうな爪だから怪我を爲る、何御祖父ちやんの足はしなびて居て干大根のやうじや、ウン今日貴樣の親父が擔いで居た賣物と同樣だ、明日の朝は來るぞ、おとなしくなつたと云はれるやう御機嫌よろしゆうと御手てを拱て御挨拶をしろよ、娘や、云はれて花は枕を舉げ 花「ハイ 重「モー夜は明けるかナ 花「今四ッを打つたばかりです 重「何だ四ッを打つたばかりだと、上野の坊主が瞞惚て間違へたのじやないか 花「未だ寢まして間も御座いません 重「然うか、何うか明日は天氣にしてやりたい、新左衛門が參るにも今日のやうな雪では途中が難儀じや、と語りながらトロ〳〵と眠すむ、東雲つげる鐘の聲、親子の緣も淺草の辨天山で打出だせば雪に埋もれて枕所にひゞく、重兵衛ガバと刎起て手早く衣服を身に纏ひ大音揚て 重「久助〳〵と呼ければ伸をしながら 久「成程早いぞ 重「是花や起ろ、コレ久助起ろ 久「昨夜云ひ付られた通りモー起て居ります 重「起て居たらば茲に來い 久「未だ横に立て居るだア、重「馬鹿野郎、横に立つて步行るか、何うだ久助降つたな雪は、久「降ましたネ、之が皆な金儲けだが、雪では爲やうがねへ 重「何うだ餘程積つたやうだナ 久「積つたネ、六尺以上も積りやした 重「馬鹿野郎、六尺積れば大地は塞がつてしまう 久「最も夫は向ふの塀の上だネ 重「塀ばかり六尺あるから至當だ、地面へ積つたのはドンナ物だ 久「一尺も降つたかチ、重「然うだらう、江戶で一尺降れば大雪だ、云へば下郎は朝早いので不平面 久「旦那樣、一尺積つたと云ふは縱幅で橫幅は判かりません。



世の多くの婦人は
子宮病の治療を誤て居ないか

一概に子宮病と云ても其種類は隨分多く從つて治療法も種々あるが、一般婦人の自宅治療を見るに甚だ勝手氣儘で服藥は厭だの洗滌は面倒だ、さし藥は困ると病源を考へ藥を適用せず、自己の都合より割出して藥物應用である、爲に內服藥の必要なる症狀に向て外用藥を用ひ、外用藥の必用は內服藥のみを用ゆる矛盾の治療をして、子宮病の不治を嘆く婦人の多きは誠に殘念である津村順天堂の自宅治療法は一藥萬能主義でなく一數種の加減內服藥と數種の外用藥を以て婦人病の根治を保證するのであるが今外用藥中將湯を使用すべき諸症を同病患者に告白す幸に自己の症狀を考慮して本劑を用ゆれば必ず滿足なる結果を得べし尙詳細を知らんと欲すれば詳しき容體を記して本舖津村順天堂へ申込れよ

●中將湯は婦人病一切の內服藥にて中將球は子宮內膜炎とか白帶、赤帶、こしけ子宮痙攣、子宮加答兒、膣炎、膣加答兒子宮爛糜、子宮惡臭、子宮搔痒、尿意頻促、月經時の疼痛、痳毒性子宮病等の特効あり殊に良夫の痳疾に罹り居る時は痳毒菌の爲に心付かざる內に子宮を害する事多ければ常に中將球を使用して本病を豫防せられよ不妊性と流產、子宮內膜炎の分泌物及び酸性の粘液は精蟲を害し不妊症を起し子宮の炎症は卵の發育を妨げ妊娠するも流產となる事多ければ本劑を使用して病根を斷つ事肝要なり

定價百二十個五圓四十五個二圓二十個一圓九個五十錢三個二十錢本舖は東京日本橋通四丁目(振替口座一六八〇番)津村順天堂です●取次全國各藥店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

六月一日より

夏衣大賣出し

季節向よせぎれ、見切反物
種々取揃へ置申候。

扇子展覽會

諸大家揮毫の古風と今様の扇子の内美と粋とを集め別室に陳列致し御高覧に供し候間御來遊の程奉侍上候。

神田今川橋
松屋呉服店

色白く艶をだす（大形廿錢　小形十錢　新小角十錢）
松澤ホーサン石鹸
●近來類似品あれば御買求の節は上部の商標に御注意を乞ふ○市内賣藥小間物化粧品店にあり
東京本石町四　松澤常吉

衛生化粧
美髪法（けをうつくしくするはふ）
赤毛、白髪染、縮れ毛直し
拔毛どめ、毛生法等あり
本書御入用の方は郵券二錢封入申込者に無代進呈
東京本所區外手町八七
發行所　深澤國華堂

醫院案内

生殖器科
梅どく・生殖器病・外科　あざ　ほ黒
東京淺草瓦町廿八　瓦町電車停留場横
中央醫院

生殖器病專門中央醫院處方
梅毒　横根　下疳
りん病・皮膚病　ぢ疾症
生殖器病　神經衰弱　記憶力減衰　陰萎夢精遺精　早漏陰莖發育不充分
わきが
●病狀を記し郵券六錢送れば其病を速治する特効新藥說明書送る
東京淺草瓦町廿八　瓦町電車停留場横
中央藥院

◎產科婦人科
芝明船町十九虎門外　電話新橋三三二四番
櫻井克巳

岩佐病院　日本橋區蠣殼町二丁目廿三番地（電話浪花六七九番）
診察時間　自午前九時至正十二時
內科婦人科　院主　岩佐純
內科　院長　ドクトル　岩佐新
外科　醫學士　山村正雄
產科婦人科　醫學士　佐久間兼信
腦病脊髓病　醫學博士　土田卯三郎

東京神田區美土代町三丁目十七番地
內科一般　午前宅診　午後往診　板垣亭
電話本局貳千九百七十番

●宮內省醫員を辭して一般の治療に應ず　安島廣三郎
腦神經衰弱、リウマチス、脚氣、神經痛、胃腸病、婦人病、耳鳴、
●從來の鍼術と異なり少しも痛なし
日本橋區元柳町八【電車淺草橋下車】
朝七時より二時迄
安島鍼術治療所

腦神經精神病科
東京龜戸町電話浪花二五五二
加命堂腦病院

福田病院　京橋釆女町歌舞伎座前横通　電話新橋（三二四二・四八八一）
院長　醫學士　福田謙之
次長　醫學士　加藤良逸
小兒病一般
並（小兒皮膚科　小兒耳科）
隔離室の設備あり

◉院長ドクトル木村順吉
婦人科產科木村病院
京橋卅間堀一丁目角（電話新橋二六七〇）

產科婦人科專門
診察每日午前　入院隨時
淺草區左衞門河岸　電話下谷一〇二八
岩田病院

院長診察月水金木前松田醫學士診察火土前窮者施診火木前入院診斷隨時應需松田林兩副長は目下當院に在勤
電本八八八（病院用）八九八（私宅用）
東京神田區駿河臺鈴木町二（御茶水橋畔）
內科　東洋醫院
院長　醫學士　高田畊安

神奈川縣高座郡茅ヶ崎村濱（停車場所在）
南湖院　電話茅ヶ崎二番
河野副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後○同時窮者施診
副長診察月、火、水、木、金、土、午前
○入院診斷後隨時應需

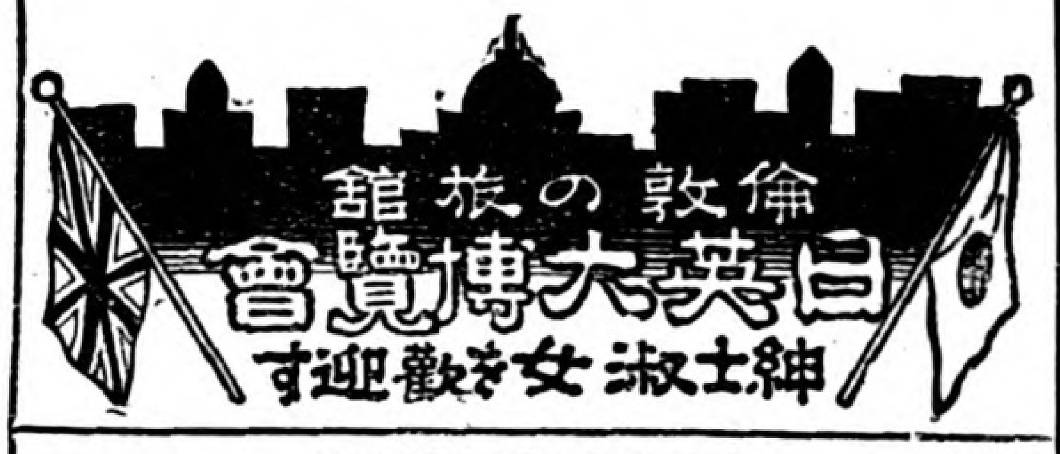
產科婦人科小兒科
女醫　鷲山彌生

診察時間　院長　每日午前八時より
　　　　　醫員　每日午後三時より
內科部長　醫學士武智基造
診察時間　火木土午後壹時より
病室及產室の設けあり入院隨時
東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地
東京至誠病院　電話番町二二五七

醫學博士　榊順次郎　每日午前診察
醫學士　久保徳太郎　日曜水曜午後　婦人科的外科
醫學士　田代謹二　火木土曜日午後　泌尿器病及內科
●施療火木土午後自一時至二時
●施療妊婦產婦ヲ取扱フ
婦人科產科　榊病院
麹町區三番町三三（電話番町三九五）

小兒病診療　往診午後　宅診午前
淺草區新福井町二（瓦町電車停留場際）
醫學士　內田愼太郎
（電話下谷七一八）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



ARUNDEL HOTEL,
Victoria Embankment, London, W. C.

當館は地下電車乘場に接近し日英博覽會場へ數分の間に達する事を得、第一流の劇場に近く寢室壹百、圖書室、喫烟室、球突場等完備す眺望は雅なり。

英國倫敦アランデルホテル

CHARING CROSS HOTEL,
Strand, London,
電信宛名 "Banqueting, London.,,

本館は倫敦第一流の旅館にして市の中央に在り鐵道及電車に近く遊覽見物に至便寢室三百五十電話各室に通す、圖書室喫烟室遊戲室海水浴室等完備す。

英國倫敦チヤリーング、クロス、ホテル

QUEEN'S HOTEL,
Upper Norwood, London, S. E.

本館は日英大博覽會場に接近せる大旅館にして見物に至便なり宿泊料低廉、食事中奏樂す各室清潔にして美觀を極む

英國倫敦アフバーノルウート街、ク井ンスホテル

MANCHESTER HOTEL,
Aldersgate St., London, E. C.

弊館オルダースグート停車場に接近し且つ日英博覽會場へ直行し得らる　日本紳士淑女に對し特に割引し一日分約三圓と五圓の二種とす食料附

英國倫敦マンチエスターホテル

THACKERAY HOTEL,
Great Russell St., London.
サツカーレーホテル

KINGSLEY HOTEL,
Hart Street, London.
キングスリーホテル

弊店は禁酒旅館にして中央停車場へ三分間にて達する事を得宿泊料は至極御手輕に取扱可申候

SALISBURY HOTEL,
Salisbury Square, Fleet St., London.
電信宛名 "Salisbury Hotel, London.,,

快適なる談話室、應接室、圖書室其他旅客を慰藉する設備は全し
一日の宿泊料（食料其他一切）約五圓以上
當旅館より五分間にして劇場其他著名なる場所に達することを得

英國倫敦サリスベリー、スコーア、フリート街
サリスブリーホテル
電話三八一九番（セントラル）
電話七三一番（シチー）

内外廣告取扱部
廣告用雜貨輸出入部
洋書輸入販賣部
和英飜譯印刷部
意匠考案部

本店　神戸市元居留地仲町三十八番館
出張店　東京市麴町區八重洲町一丁目一番地
支店　英國倫敦クレヴンハウス五十七番館

合名會社 東洋廣告取次會社

業務擔當社員　ドーグラス、エム、ヤング

六月一日より
中形浴衣地大賣出し

特製中形。薄地物類。
夏洋服地。旅行用具。
新柄店内に溢れる斗り
よせぎれ。見切反物。
商品潤澤。價格低廉。

東京日本橋
白木屋呉服店

一般家庭の實用的必備書

本書は少時より專業者の間に在りて多年實地の經驗を積める著者が東西兩京及び大阪等をはじめ各地方の講習會に臨み實際に此等の事を行ひ示しつゝ講演したるもの〻中多くの家庭に於て最も便利を感じ且つ比較的容易に行ひ得べき部分につき詳細親切に說述しまゝ挿圖を以て說明を助け誰人にも實行し得らるゝ樣記述したるもの今內容の一般を擧れば

洗濯―糊附―洗張―染色―色揚―汚點拔―乾燥
等の方法―諸注意を詳說して餘すところなし

高山繁君著

最新刊

家庭實用 新式染洗法

總クロース製
振假名附
美本全一冊
定價金六拾錢
郵稅金八錢

第一編に於て染色並に洗濯に用ふる水につきこの心得を述べ。第二編には木綿類、絹布類、毛織物類及びホワイトシャツ等の洗濯法を說き。第三編に進みて絹物、毛織物、木綿類等の染色法より特殊の染方色揚の方法を詳述し。第四編に入りては前編に於て學びたる所を基礎とし專業者の特に秘法と稱する事柄等を按排し實用に便なる汚染拔の法を說き且つ乾燥洗濯の方法及び著者發明の紋洗法を解說し附錄として染洗用諸器具藥品類の價格と販賣所とを表示しあり

故に本書を熟讀しその示す所に從へば他の助言又は指導を要せずして能く染洗の事を實際に成就し得べきを信じ一般家庭に一本を備へんことを薦む

取次販賣所
東京麴町區飯田町一丁目
振替口座壹壹三八一番
愛國婦人發行所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

東京市日本橋區通一丁目
合名會社 森村銀行
電話（特）本局六七三番
電話本局四九八番
定期預金 六ヶ月年四分五厘
當座預金 百圓に付日歩五厘
特別當座預金 同日歩九厘

奏事遺毛にて種々藥を試しも効なく醫博士も失人所迄三百へ
より寄藥を得候毛も濃くなり生へざる
毛生し嬉さの餘り困る方に分與せしに
有餘の禮狀を受け不思議のまゝ倘困難
書ぐ三錢郵券添御照會あれ……
東京々橋越前堀一ノ四　河村愛子

目下東髪界に持て囃されつゝ有る割れたる珍奇の貝類を巧妙に取合せ調製したる
二枚櫛 並に中差簪等種々取揃申置候
世界流行の中心たる佛國巴里の交際場裡に於て目下最も流行しつゝある季節向の東髪用
タボ櫛
三枚櫛
リボン
フローチ
等種々新着仕候間御光來の程奉希上候
尚御持古しの小間物交換仕べく候
東京市神田須田町（電話本局二〇七六番 振替口座二一八一番）
小間物商 監甲 三井屋徳次郎
京橋區新橋際 博品館内支店
神田裏神保町 東明館内支店

婦人世界

私が拜謁せし英國皇帝陛下……伯爵 林董
地方から上京せし者の不心得……中川女子高等師範學校長
内親王殿下に御教授申上げた當時……坂正臣
▲婦人の芝居見物は利益多きか弊害多きか……村井弦齋
▲千里眼を持てる不思議な婦人と語る……文學博士 福來友吉
◎糠を食して脚氣を全治せし……弦齋夫人
◎良人が常陸丸甲板上に戰死した當時……須知千勢子
◎母親注意 小兒初夏の衞生……加藤博士
◎洋行歸りの私は剃髪せり
◎十二人の子供養育苦心談
◎二階から戰爭を見た實驗
◎女工の生活狀態を見るの記
◎手紙で病を癒す醫者を訪ふ
◎輕症の痔疾を治する輕便法
◎チョン髷長屋を訪ふの記
◎私が世話になつた米人家庭
◎梅雨季節の毒ある黴
◎婦人懸賞募集いろいろあり

六月一日發行 第五卷第七號
壹冊拾五錢 郵税壹錢五厘
半年分壹圓五錢 郵税共
一年分貳圓 同

東京京橋南紺屋町 實業之日本社 （振替貯金口座三二六番） 全國書店に有

元祖ねびへしらず（小兒用）

登錄商標

僞物あり御買ひ求めの節目印登錄商標に御注意願上候

直段
表中形裏ネル 一オ用二十錢 二オ用廿三錢 三四オ用廿六錢 五六オ用廿九錢 七八オ用卅三錢
表メリンス裏同上 一オ用三十七錢 二オ用四十一錢 三四オ用四十六錢 五六オ用五十三錢 より四十二錢各種迄

地方は代金引替小包送料五個迄十七錢五個以上は送費當店持海外は實費頂戴可仕候
製造卸小賣 東京日本橋區ふきや町（電浪二三四八）佃屋商店

（注意）近來類似品を販賣する者あれば御買求の節は右瓶の形狀及び二頭の麝香獸に御注意を乞ふ市内賣藥小間物化粧品店に於て販賣致し居り候

麝香獸印 ムスク香水
大瓶壹圓 中瓶六十五錢 小瓶二十五錢
芳香の永く保つ點にて高評也
東京日本橋本石町四 松澤常吉

最上醬油
品質優等ニシテ調理ニ適ス
發賣元 日本橋區小網町三丁目廿七番地 濱口吉右衛門
釀造元 千葉縣銚子町 濱口吉兵衛

宮内省御用達
最上醬油之元祖
開業貳百六拾六年
釀造元 下總銚子町 濱口合名會社
振替貯金口座五〇貳壹番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

よいゆかた
いせざきめいせん
かすりるゐ

人形町通の
赤のれん
おはなや本店
電濱四三四五

皆様
今日もまた
丈夫で元氣で
心から愉快に
「暮す様」
「ゼム」を
今すぐ
召上れ

消化と毒けし
ゼム
懷中良薬
口中香錠
▼全國各藥店にあり

にきびをとる有効化粧液
チプリ
到る所に販賣し升
廿グラム入
二十五錢
東京本石町
松澤常吉

婦人画報

六月一日發行　六月の卷　一冊　廿五錢　郵税二錢　六冊税共壹圓五拾錢　十二冊税共貳圓八拾八錢

讀物
婦人と謬見…木場協士
美き目と言葉遣ひ…藤岡博士
軍人と婦人 北志島中將◎貴婦人と應接 岸邊◎苦學生
悼しき三人
婦人が自ら不幸…吉田博士
女學生の小遣帖◎金子子爵臺所
いろいろな癖のある召使ひ…
大昔の精神を發揮せよ…下田歌子
紡績會社の女工◎食べ物色々…
和歌入門◎百姓の家◎眼の衛生…
男子に對する婦人の好み…三宅博士

畫報
綠蔭 岡田三郎助筆▼幼稚園の踊り
鳩山秀夫氏の結婚式▼花と少女…▼藤と牡丹…
朝香宮富美宮兩殿下御婚儀
三輪田高女鎌倉行▼母親と子供
跡見女校江島行▼荒川堤の一日
三女王殿下江島遠足
山脇高女稻毛行▼麴町高女遠足
老人祝賀會▼愛國婦人會總會…
諸名家の令孃鑑
尾崎氏結婚式▼紡績の女工
目出度三夫婦▼工女寄宿舍

皇族画報

五月二十五日發行
定價三十八錢 郵税二錢

皇室を始め奉り各皇族未曾有の御慶事を永遠に紀念せんとの微衷より曩に皇族畫報を發刊するや幸に國民諸士の歡迎する所となりて
七版忽ち盡き原版亦消磨したれば或は尊嚴を汚すを憚れ暫し頒布を中止するも已むなきに至りしも爾來茲に三年各皇族家に御移動ありたると且は切なる江湖の要求とに促され今回更に
最近御肖像御貸下を奉願ると共に
御家庭御有様等に於けるをも親しく參候拜聽する光榮を得たるを以て
全然改版訂正上發行するもの也。敢て茲に我忠勇義烈なる一國民諸君に對して此一書を捧ぐるを得るを喜ぶ

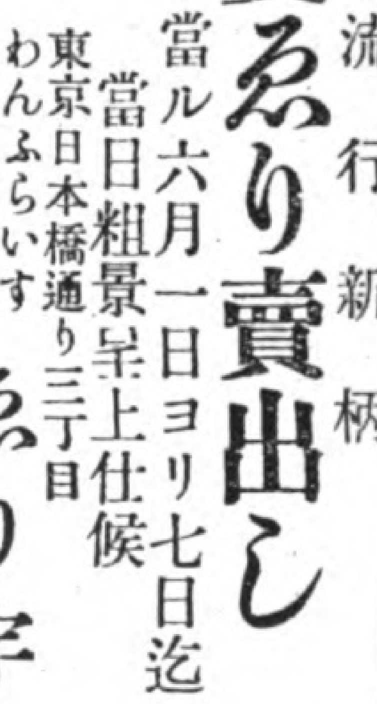
東京飯田町四の四　東京社　電話番町二三三九　振替口座一一八一八

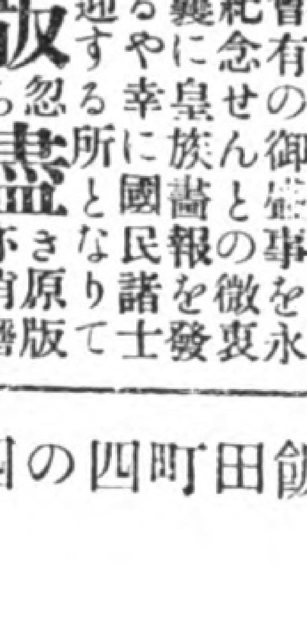
タカヂアスターゼ

●不消化の徵候
醫學博士谷口長雄氏曰く『澱粉不消化に因する疾病の重なる徵候は胃の膨滿、疼痛、溜飮、腸内瓦斯蓄積、便秘若くは下痢等にして甚しく營養障害を來す是等の疾病に對しタカヂアスターゼの頗る有効なるを信ず』と
●高峰博士發見
の製法に從ふタカヂアスターゼは毎瓶强度一定効力不變なり
是れ普通製法の幾多摸造品と異る特長なり眞正なるタカヂアスターゼを得んには必ず高峰博士のタカヂアスターゼと指定せられよ粉末錠劑の二種あり各地に於ける信用ある藥舗にて取次販賣す
●醫學大家の報告
を收載せる『タカヂアスターゼ説明書』あり
發賣元東京日本橋室町三丁目三共合資會社へ申込まるれば無代郵送す

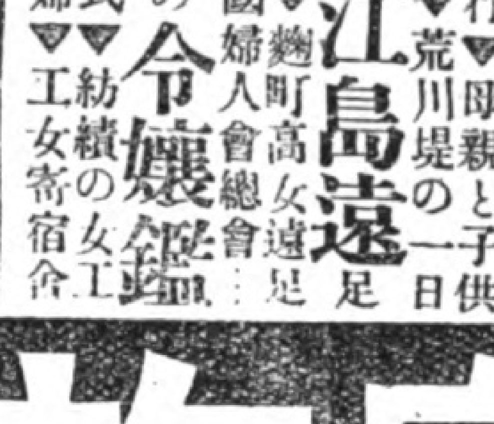
流行新柄
夏ゑり賣出し
當ル六月一日ヨリ七日迄
當日粗景呈上仕候
東京日本橋通り三丁目
わんふらいす
しよつぷ事
ゑり宇
電話本局二九四七番

良薬にして口に甘し
たんせきに
あさだあめ
浅田飴
すきはらにめし





たんせき
ひきかぜ
はいびやう
よわき
くにょし
東京本店　堀内伊太郎　大坂支店
取次　全國藥店



毛髪くせ直し
美髪水
◎一瓶二十錢
◎送料二瓶迄内地十三錢
◎代金は小爲替に限る
◎前金に非らざれば送らず
▲美髪水の特効は毛髪の癖を直し其色艶を佳くする故に▲之を用ふれば如何なる硬き髪でも柔になり升から▲島田でも丸髷でも束髪でもお湯で採まずに結はれ升▲殊に油氣なしのお孃さん方のお下髪には最も妙です▲要するに癖の有無に拘らず老若男女とも必要の品であり升▲之がため目下帝都化粧品界の流行兒となつて居升▲論より證據試して御覧なさい
發賣元　東京麹町一番町五（五番町停留場前）萬歳堂

夏
ゆかた　ゑり善
東京日本橋區堺町通ふきや町　電話浪花　千二百七十番

和洋裁縫各科募集
本校教員養成科は文部省裁縫科檢定試驗を受る事を得
本科は毎四月許入學尚各科毎月募集
東京麴町區飯田町九段中坂上
文部大臣認定
私立
和洋裁縫女學校
（電話番町千九百七番）

愛國婦人廣告取扱
神田三河町一ノ一九 博報社
京橋區宗十郎町一七 正路喜社
愛國婦人海外廣告一手取扱
日本橋區蠣殼町三ノ一一 大興社
京橋區南紺屋町一 星社
神戸市元町居留地仲三八 東洋廣告取次會社
神田須田町廿七 金蘭社
京橋區 廣告社

◎活動寫眞の應用

過ぎ去つた昔のことを實地其儘に今日に見られ、今の出來事を幾十年の後までも有りの其儘に觀ることの出來るのは獨り活動寫眞ばかりである、例へば一家に於ける今日の繁榮模樣、家族のまどゐ、建築の模樣など、あらゆる事柄を活動寫眞に撮し置いたなら後日になつて其の有樣を實物通り觀ることが出來、又老祖父母にも出逢ふことが出來る。現に野津大將が先年凱旋の時に御邸の内外有樣を逐一撮さし取りになつた、近くは佐々木侯爵家にて御撮影になつたが今日になつては時々其の寫眞を映して御覽になつて此上ない御樂しみにしてお出になつて居る、これは後の參考となる計りでなく以前の模樣を實地に觀、亡き人々にまのあたり出逢ふなど其の樂しいことは之を除けては恐らく他にあるまいと思ふ。そこで其の費用は何程かと云へば僅に一日の遊散費用で十分出來るのである、今假りに五十尺ある長さの寫眞を撮らうと思つたら種板代が拾五圓と出來上り映畵代が拾五圓と都合參拾圓で子孫永久の紀念物が出來るのである、なんと便利なものではありませんか、皆さん早く撮して家庭の快樂をお求めなさい。

出張撮影申込所

東京新橋南金六町十三番地
吉澤商店
電話新橋三七八番五三二番

大阪市南區永堀橋筋壹町目
同大阪支店
電話南四五番

今夏流行の
半ゑりは
神田 赤のきんに限る
本店 神田表神保町壹番 電話本局二八五三
出店 新橋博品館階上

御扇子
愛國婦人會御用達
京都寺町五條下ル東側
御影堂 持阿彌

ライオン歯磨(はみかき)
東宮殿下
(於第一回貿易品博覽會)
賜御買上の光榮
發賣元
東京市神田柳原河岸
小林富次郎
支店
大阪市東區博勞町
名古屋市西區傳馬町

新時代の婦人必讀
婦人の新修養 金五拾錢 郵税八錢
ウキルコツクス女史著 三津木春影君譯述
原著者は米國の社會教育家にして熱心なる婦人問題研究者也
◎◎◎見よ結婚前の用意 美容術 交際術 家庭經濟其他 細君の心得等 若き婦人の前に横はれる諸問題悉く解決す
▲木内菊次郎著 圖書應用 紙細工 (價五拾錢 郵税八錢) 圖書を應用して巧みに紙細工の法を敎ふ
▲遠山博士閲 白井悦子著 衛生料理法 (價五拾錢 郵税八錢) 老人病人小兒に適當な料理法を平易記述
東京京橋南紺屋町 實業之日本社

明治四十三年六月五日發行(毎月五日、廿日二回)
(定價金三錢五厘 一ヶ月金七錢 郵税不要)
廣告料一行金六拾錢
發行兼印刷人 山澤俊井
編輯人 竹内貞三
發行所 東京麴町區飯田町 愛國婦人發行所
印刷所 東京本所區番場町 凸版印刷株式會社分工場

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN